

56-1・2次隊

協力隊派遣受入希望調査表

昭和55年10月

NO. 3

保健衛生・教育文化・スポーツ部門

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

J/33314

SE

56-1

15110



56年度第1・2次隊協力隊員派遣受入希望調査表

No. 3

目 次

職 名	要 請 数	国 名	調査表 の有無	ページ	職 名	要 請 数	国 名	調査表 の有無	ページ
501 医 師	2	チュニジア	○	236	710 陸上競技	1	ペルシア	○	284
502 歯科医師	2	西サモア	○	237	720 体操競技	1	マレーシア	○	284
510 看護婦	1	ネパール	○	238		2	チュニジア		
	1	ネパール	○	239		1	モロッコ		
	1	ネパール	○	240		1	ペルギー	○	285
	1	ホンジュラス	○	241		1	ペルギー		
511 助産婦	1	チュニジア	○	242	730 水 泳	1	セネガル		
	2	マラウイ	○	243	751 バレーボール	1	チュニジア	○	286
512 保健婦	1	ネパール	○	244		1	モロッコ		
	1	ホンジュラス	○	245		1	ペルギー	○	287
521 臨床検査技師	2	マラウイ	○	246	752 バasketボール	1	ザンビア	○	288
	1	西サモア	○	247	754 野球	1	ペルギー		
523 作業療法士	1	マレイシア	○	248	770 柔 道	1	フィリピン	○	289
525 薬剤師	1	マラウイ	○	249		2	チュニジア	○	290
	1	マラウイ	○	250		1	ケニア	○	291
550 公衆衛生	1	マレイシア	○	251		1	ガナナ	○	292
	1	西サモア	○	252		1	ホンジュラス	○	293
60103 在庫管理	1	ザンビア	○	253					
605 考古学	2	ホンジュラス	○	254					
606 生態学	1	マレイシア	○	255					
607 動物学	1	マレイシア	○	256					
608 地質学	1	マレイシア	○	257					
611 秘書	1	チュニジア	○	258					
	1	ザンビア	○	259					
620 プログラマー	1	マラウイ	○	260					
630 写真	1	スリ・ランカ	○	261					
631 映画	1	マラウイ	○	262					
	1	マラウイ	○	263					
64001 手 芸	1	ネパール	○	264					
	1	スリ・ランカ	○	265					
641 婦人子供服	1	マレイシア	○	266					
	1	マレイシア	○	267					
650 音楽	2	コスタリカ	○	268					
660 美術	2	ホンジュラス	○	269					
670 図学	1	フィリピン	○	270					
	1	バンガラデシュ							
	1	バンガラデシュ							
680 日本語	1	コスタリカ	○	271					
681 理科教師	1	フィリピン	○	272					
	3	ネパール	○	273					
	7	ケニア	○	274					
	9	マラウイ	○	275					
	1	ザンビア	○	276					
	10	ガナナ	○	277					
68106 児童理科教師	1	チュニジア							
	1	チュニジア							
	1	チュニジア							
683 技術科教師	1	マレイシア	○	278					
701 体育	1	ネパール	○	279					
	2	モロッコ							
	1	ザンビア	○	280					
	1	ペルギー	○	281					
	1	ペルギー	○	282					
710 陸上競技	1	ネパール	○	283					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

501 医 師

記入昭和 53 年 9 月 20 日

調査者氏名 柳 井 進

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
テニジア	(現地公用語) (Pédiatre, oto-rhino, Médecin (gynécologue, chirurgien)	(男) 2 人	訓練開始 54 年 4 月
	(日本語) (小児科、耳鼻科、婦人科)	(女) 1 人	派遣予定 54 年 8 月
	医師 (外科のいづれか)	1 人 (どちらでも可)	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Le Ministère de la Santé Publique (田名称 M.S.P.)

(日本語): 保 健 省

2. 隊員勤務先名称: 国内各地の国立病院 (hôpital ~~national~~ (

所在地: National) または県立病院 (hôpital ~~regional~~ (

ハ. 事業規模及び内容 regional) に配属になるが、決定は隊員の任国到着後、隊員の履歴とこの時点でのテニジア側のニーズを勘案して行なう。各病院の規模、内容、程度はそれぞれまちまちであり、一概に良い悪いは言えないが、一般的に云えることは設備はよく、細かい日常の資材找も簡単に入手できるとは云い難い。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 隊員の配属先は、隊員派遣時の現地人医師の配置状況、隊員の経験年数、得意な分野等によって左右されるので、隊員の伝文による履歴書を見て後、保健省人事局において決定される。したがって隊員の業務内容について明確に記すことはできないが、おおむね以下のとおりである。

① 隊員の業務上の地位: 医師

② 技術の範囲: 化けやけの専門分野の診察、治療および病気の予防、ロ) 麻酔師、看護婦(婦)、母、栄養士等の指導監督。その他医療一般。

③ 業務の形態: 当初はメトサンドクター(専任医・医学博士)やプロフェッサー(科長、若手医師の指導者)の指導の下に業務に従事することになるが、業務が軌道にのった後は、日常の診察、治療業務を行いつつ、週1回~数回のプロフェッサーの回診に同行し、インターン等の養成等にも協力することになるが、そのためには語学力、技術力が先方に認められなければならない。

④ カラカボットの技術水準、学歴: ほゞほとんどの医師はフランスで教育を受けて、ヨーロッパ人と同等の医師の資格を有する。技術水準はヨーロッパと同等。テニシス大学医学部出身の医師がすでに各地に配属にかけられている。

⑤ 職場に来る外国人: フランス人、ベルギー人、ブルガリア人などの医師が多い。日本、アメリカの看護婦が少数。

⑥ 使用する言語: 記録はすべてフランス語。会話はフランス語とアラビヤ語であるが、地元の病院では患者との対話はすべてアラビヤ語にたることが多い。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当国は医師の絶対数が少なく、人口約600万人に対し医師総数は約600名である。保健省はヨーロッパ諸国から各科医師を高額で雇い入れている。この絶対数不足を背景に日本からの各科医師派遣を熱望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○(学歴): 大学医学部卒、○(取得資格): 医師、○(実務経験): 医師資格取得後2年以上 (在学中の実習期間は含まない)、年令不問。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 / 日

502 歯科医師

調査者氏名 宮崎 隆 (伊藤)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語) Dental officer	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 歯科医師	(女) 人	派遣予定 56 年 4 月
		(どちらでも可) 2人	受入期限 6 年 4 月迄に現地到着のこと

1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Health DEPARTMENT

(日本語): 厚生省

ロ. 隊員勤務先名称: Dental Division on National Hospital (日本語名称 (国立病院 歯科部門))

所在地: Apia

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 西サモアの Dental Health Service は、① Central Clinic (APIA)

② School Dental Service ③ Rural Dental Service (ウポル島に 2 - potasi, alipata

ツバイ島に 2 - Tuusivi, tagamalo - Dental clinic がある) の 3 つのセクションに成り立っている。

ニ. 設備概要: Central Clinic は 2 年前にできた新しい建物で、治療ユニットは 8 台 (353 台がタービン付き)、歯科用 X ray 装置 1 台、各種治療器具完備。

(2) 隊員の業務内容:

1. 上記の 3 つのセクションが業務内容で、月ごとにスケジュールが決まっている。

2. 現在、Dentist が 10 名、Dental Nurse が 4 名、Technician が 3 名、Assistant が 13 名 (35 名) いる。2 名の Dentist が常時ツバイ島に勤務。Dental Nurse は午前中
学校で治療。午後は Central Clinic で 20 才以下の患者と治療 (抜歯と充填など)。

3. Central Clinic は "Emergency", "Conservative", "Prosthetic", "Surgery" の 4 つのユニットに分かれていて、duty が日程表で決められている。治療時間は 8:30 - 12:00, 1:00 - 4:00。

Out patient が 24 時間 open で、night duty が週に 1 回 (自宅待機で call 待)。

休日 (土日) 当番が月に 1 回の割合でまわってくる。"Emergency" は chair が 3 台、

エンジンがないので、抜歯と XOE Dressing, Mittel が主な治療。1 日約 60 名の患者 - 多い日は 150 名。

"Cons" は Ag Filling, Resin Filling, Root trea. 患者の希望で前歯部の Gold Inlay が非常に多い。

"Proth" は Denture の作業。抜歯が多いので入れ歯も多い。Partial Denture はクラスチック。咬合器は単純なものばかり。Jacket Crown, Full Cr, Bridge 等もできが、技工師の腕はあまりよくない。

"Surgery" は minor の他に、顎骨骨折の治療が大半のケースを占めている。有能な Dental Surgen が 1 人いる。あと、Prophylaxis の患者が多いが、これは Assistant が研磨する。原則として 1 つのユニットに 1 人の Assistant がついている。患者は Emergency treatment を受けたあと、予約して "Cons" "Proth" "Surgery" に予約がつけられる。[以下次のページ]

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在 10 名の Dentist のうち半数は、60 歳以上で、肉体的にも技術的にも期待できない
実情であり、若い例が少いといっている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 歯学士の称号を有していること。

2. 最低 2 年間の病院勤務経験を有すること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 12 日

(助産婦)

510 看護婦

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) <i>gynecology</i> <i>Nurse (Ward Management)</i>	(男) 人	訓練開始 56 年 7 月 6 月
	(日本語) 看護婦(産婦人科病棟)	(女) 1 人	派遣予定 56 年 7 月 10 月
	(どちらでも可)	人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Health, Dept. of Health*
(日本語): 保健省 保健局

ロ. 隊員勤務先名称: *Bheri Zonal Hospital, Nepalganj* 日本語名称 (ネパールガンジ病院)
所在地: ネパールガンジ, バリ州 主要都市からの距離 (KTM より 900 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 50床の国立病院(バリ州最大の病院)新たに50床分の病棟が増設されているが
未フルしている。〈外来〉外科(整形含む)内科、小児科、産婦人科、歯科、救急外来、夜間急患-結核
検診〈病棟〉産婦人科12床、一般38床(内伝染病4床)個室2、解剖室、病院附属准看護婦

ニ. 設備概要: 院長1、内科医2、外科医1、産婦人科医1、歯科医1、シスター1、着成所
シニスタフナース1、スタッフナース8、准看護2、ドクター2、薬剤師1、検査技師1、X-Ray技師1、他

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: *Sister Nurse (病棟管理主任)*

② 技術の範囲: 産婦人科病棟、分娩室勤務 *

③ 業務の形態: 隊員(日本人看護婦)は日勤のみ AM 8:00 ~ PM 2:00

④ カウンタート: ネパール人スタッフナース、ANM(准看護)

⑤ 使用する材料: 吸引器、保育器、消毒用保温器、身長計、但し維持管理がうまく行われていない

⑥ 第三国人: 協力隊員看護婦(分娩室勤務)と本要請隊員各1名ずつ

⑦ 使用言語: ネパール語、技術用語は英語、他にヒンディー、タレー、デハティー等この地域の住民の
言葉があり患者がよく使用する。但し語学訓練はネパール語でよい。

* 分娩件数 (1ヶ月) 30 ~ 40 件

主な Case は、異常分娩(胎児位置異常、分娩前後の出血、
家庭分娩による残留胎盤)

・満期死産(産褥熱)

・自然流産(3 ~ 4ヶ月)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ネパール政府は医療行政に力を入れており近年では "Minimum Health Care to Maximum People" を
スローガンに全国各地に Health Post の設立をいっている。しかしながら一方で医師が 430 人、看護婦が
500 人と医療従事者の不足が現実の問題としてある。ネパールガンジ病院へは過去3代にわたり2名ずつ
計6名の看護婦隊員が活動を続けてきており、日本人看護婦の技術指導が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○助産婦資格 臨床経験 2-3年

(清水純子隊員交替要請)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 7月 31日

510 看護 婦

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Nurse (Operation Sister)	(男) 人	訓練開始 56年 7月
	(日本語) 看護婦 (手術室)	(女) 1人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56年 7月10日 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Dept. of Health Services, Ministry of Health.
(日本語): 保健省 保健局

2. 隊員勤務先名称: Bheri Zonal Hospital, Nepalgunj 日本語名称 (ネパールガンジ病院)
所在地: ネパールガンジ、バリ県 主要都市からの距離 (KTMより200キロ)

3. 事業規模及び内容: 50床の国立病院(バリ県最大の病院)。新たに50床分の病棟が増設されているがオープンしていない。外来: 外科(整形も含む)、内科、小児科、産婦人科、歯科、(毎週金曜日結核検診)、救急外来。
病棟: 産婦人科12床、一般38床(内、伝染病4床)、個室2、解剖室、病院付属看護婦養成所(60名)
4. 設備概要: 院長1、内科医2、外科医1、産婦人科医1、歯科医1、エスターナス1、シニアスタッフ1、スタッフ8、看護ク、ドクター2、薬剤師1、検査技師1、X-ray技師1、事務員37、2nd-3rd 調理人5

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 手術室エスターナス (但し現在は、週3回(月、水、金)の手術日のため、残り3日は病棟エスターナスの業務も行う)

② 技術の範囲: 手術一般、例、(外科: 胆嚢結石、陰嚢水腫、水牛の角による裂傷)、(婦人科: 子宮内容清浄術、卵管通気法等)、(整形: 修復ギプス固定)

③ 業務の形態: 3交代制: 日勤 8:00-14:00、準夜勤 14:00-20:00、深夜勤 20:00-8:00、であるが、隊員は日勤を担当する。主な業務: 手術日は手術室勤務、手術日以外では手術用の準備を仕舞うことであるが、病棟の場合、8時申し送り(患者の前で)、9時回診、11時食事、12時与薬、14時準夜勤者に申し送り

④ 対象者: カウンパートのネパール人スタッフ、ANM(看護)

⑤ 利用する機材: 一般外科、整形外科用の器具類は揃っている。骨接合術、鋼線牽引セット、婦人科、子宮内容清浄術セット、帝王切開術セット、他、手術台4 (55cm手術台1、簡易手術台3)、器械テーブル大1、小2、無影手術灯1、吸引器2、患者運搬車、中央材料室に蒸気滅菌装置がある

⑥ 本三国人の配置: アメリカ人ボランティアがX-ray技師として1人いた。他にはJOCV隊員が3人にかたが活動が続けられた。(患者向けには)

⑦ 使用言語: ネパール語 (訓練はネパール語)、但し地理的にヒンズ語、マレ語などの部族語がよく使われる

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ネパール政府は医療行政に力を入れており近年では"Minimum Health Care to Maximum People"をスローガンに全国各地にHealth Postの設立をいっている。しかしながら、一方で医師が40人、看護婦が500人と医療従事者の不足が現実の問題としてある。ネパールガンジ病院へは過去3代にわたり2名ずつ計6名の看護婦隊員が活動を続けてきており、日本人看護婦の技術指導が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

正看護師資格取得後 3年以上の実務経験 (特に手術室勤務経験者)
病院の敷地内の暮ら方が日常生活の基盤にあるため、協調性のある人。

(池田幸子隊員交替)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9月 12日

510 看護婦

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Ward Management Sister	(男) 人	訓練開始 1981年4月8日
	(日本語) 看護婦(病棟主任)	(女) 1人	派遣予定 1981年7月10日
		(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Health, Department of Health Service.
(日本語): 保健省 保健局

ロ. 隊員勤務先名称: Bhaktapur Hospital 日本語名称 (マカプル病院)
所在地: Bhaktapur, Bagmati-zone, Nepal 主要都市からの距離 (カトマंडゥより13キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 総合病院である。ベッド数内科外科合わせて18床、産婦人科9床、小児科6床、伝染病棟(急性伝染病、結核)17床、合計50床。

シ. 医師は院長含め3名、他に週度外科医、眼科医、結核担当医カピル病院(国立、カトマंडゥ内)から来ている。

ニ. 設備概要) 看護婦はネパール人シスター2名、シニスター2名、スタース7名、ANM(准看護)3名、X線検査室、臨床検査室、手術室etc.

(2) 隊員の業務内容: Ward Management Sister (病棟主任看護婦)として、混合病棟の病棟管理、看護管理(業務指導及び物品管理等)及び一般看護業務を行いつつ、ネパール看護婦の指導及び監督を行なう。

① 隊員の業務上の地位: シスター(病棟主任看護婦)。技術の程度により相手側の対応が必要と想定される。

② 技術の範囲: 混合病棟における看護管理(業務指導と物品管理)と一般看護業務。さらには産婦人科系(病棟)の看護経験を有していることが望ましい。

③ 業務の形態: ネパール人病棟主任看護婦の補佐的立場に立ち業務を行なう。時間は6:00AM - 3:00PMの日勤のみである。しかし場合によっては休日祭日の出勤も止むを得ない。

④ 対象者: カリキュラ: ○シスター(病棟主任、臨床経験年数15~20年)30才以上
○シニスター及びスタース(基礎教育10年+看護教育3年) (経験は1~7年位) 20~30才位。
○ANM (Assistant Nurse & Midwife) (基礎教育8年+看護教育2年) 日本の准看護に相当する。
○ANM看護学校の学生(基礎実習、成人小児の実習)

⑤ 現地で利用可能な機材: 酸素吸入器、吸引器、腰パルゼン、等簡単な諸検査機材

⑥ 取場における3国人の配置: 協力隊員(臨床検査技師)1名

⑦ 使用言語: ネパール語、専ら内用語は英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:
より良い看護の仕方をネパール人ナースに見せて指導し欲しい。これにより看護サービスの向上を期待している。ネパール国は慢性的な看護婦不足に悩んでおり、国民の健康観念も欠如し物資も乏しい現状も受入れの背景となっている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
○正看護婦資格取得後、臨床経験3年以上

○交替要請(森川結子 隊員, 54年10月~55年10月)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

510 看護婦

記入昭和 55年 9月 1日
調査者氏名 ホデラス 調整員 國巻法郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	現地公用語)	(男) 人	訓練開始 1980年 月
	日本語) ENFERMERIA	(女) / 人	派遣予定 1981年 2月
	看護婦	(どちらでも可) 人	受入期限56年 2月迄に現地到着のこと
1) 配属先	MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA 文部省		
イ. 配属先名称 (現地公用語):	DIRECCION GENERAL DE EDUCACION MEDIA		
(日本語):	中等教育局 義務芸術教育課 (女子)		
ロ. 隊員勤務先名称:	DEPTO. EDUC. NORMAL Y ARTISTICA	日本語名称 (ESPAÑOL) 学校教員養成高校
所在地:	ESC. NORMAL "ESPAÑA" (DANLI)	主要都市からの距離 (首都より	90キロ)
ハ. 事業規模及内容:	小学校教員の養成を目的とした3年制の高等学校で約30人の教師のもとで約500人の生徒が学んでいる。1クラス50人編成。一般教室、実習室、実験室、図書室、食堂、学生寮、診療室などの施設の他、運動場、農場を有する。		
ニ. 設備概要:	診療室があり、看護婦が学駐している。医師はインターンの実習として巡回に来校している。学校にある医薬品は家庭医薬品程度。近くのガンリ市に総合病院がある。		
(2) 隊員の業務内容:	<p>ホデラスでは一般民衆に対する保健、衛生、医療に関する教育の普及が遅れており、文部省では全国的な普及をはかるべく、小学校教員養成高校の生徒たちを教育することにより、国内各地への普及が途々に進められることを期待している。</p> <p>隊員は、小学校教員養成校(師範学校)に配属され、高校生に対し、保健、衛生、医療等についての基礎教育指導を行うほか、教員、生徒、職員、保健衛生管理、救急法等の指導も期待されている。現地教員再教育講習会等の実施</p> <p>隊員の業務上の地位、師範学校 保健衛生教師(看護婦 保健婦も兼任)</p> <p>技術の範囲 = 高校生に対する保健、衛生、医療等の基礎教育指導及び職員、生徒の健康管理</p> <p>業務の形態 = 授業時間割、午前7:00~11:30 午後 2:00~4:45 1単位45分授業(月~金) 1週間10時間前後の授業を受け持つほか、診療室にて職員、生徒の健康管理を行なう。</p> <p>対象者 高校生15才~20才(中学校卒)、現地教員(再教育)、カウンターの</p> <p>現地で利用できる教材 = 診療室のみ、教材、教科書は隊員が作成する。</p> <p>専門家、外国人の配置 なし。協力隊員2名(生形教育、医療)が活動中</p> <p>使用言語 スペイン語</p>		
3) 受入希望の背景と受入国の期待:	<p>国家開発計画に基づき、文部省では教育の質の向上と地方普及を最大の課題としている。保健衛生、医療部門では文部省初の要請であり、西局長が小学校教員養成校という全国普及の中心とも言えるところにあり、ホデラスの期待は大きい。</p>		
4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):	<p>正看護婦資格取得後2年以上の実務経験を絶対条件とする。</p> <p>小、中、高校で保健婦、看護婦としての経験を有することが望ましい。</p> <p>保健、衛生、医療に関する広範な基礎知識を有すること。</p>		

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53年 9月 20日

51006 助産婦

調査者氏名 柳井 進

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 54年 4月
	Sage-femme	(女) 2人	派遣予定 54年 8月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	助産婦		

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Le Ministère de la Santé Publique (略称 M.S.P.)

(日本語): 保健省

2. 隊員勤務先名称: 2 国内各地の国立病院(hôpital national) ~~など~~ ()

所在地: または県立病院(hôpital régional)に ~~配属する~~

3. 事業規模及び内容: 配属に任ぜられ、決定は隊員の任国到着後、隊員の履任と同時点でチュニジア側のニーズを基業として行なう。各病院の規模、内容、程度はそれぞれまちまちであり、一概に良い悪いは云えないが、一般的に云えることは設備は古く、細かい

4. 設備概要: 日常の資機材も簡単に入手できるとは云い難い。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位; 産科病棟における助産婦。
- ② 技術の範囲; 主に分娩介助、他に産褥室及び新生児(未熟児もふくむ)室における看護業務、家族計画指導ほか。
- ③ 業務の形態; 国立病院の場合、産科病棟は4単位に分かれている。1)手術室(産科及び婦人科の手術)、2)分娩室、3)褥室及び病室、4)新生児(未熟児)室。地方の県立病院では規模が小さく、上記単位を組み合わせて2単位以下のところもある。隊員は上記1)2)3)4)のいずれかで働くかは上記①のとおり到着時のチュニジア側のニーズによって決定される。勤務は昼勤夜勤、2交代制をとり場合と、24時間勤務でも2日休みとか病院によつてまちまちであり、また助産婦の人数によつて形態が変ることもある。
- ④ カタリートの技術水準、学歴等; 当国の正規の助産婦の教育程度、技術水準は日本に匹敵する。しかし准看護婦などの水準は日本より低い。
- ⑤ 職場における外国人; フランス人、ベルギー人、ブルガリア人などヨーロッパの医師が多いが、助産婦には少ない。
- ⑥ 使用する言語; 記録は全てフランス語、会話もフランス語、アラビア語。地元の場合はほとんどアラビア語。
- ⑦ 現地の状況; 病院の機材、物品は不足がちであるが、現地方式でやるならどうにか間に合う。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の助産婦の人数は少ないが、彼等等はヨーロッパの教育を受けており、社会的地位も高い。隊員には彼等等に対応できる実力、経験が必要とされる。助産婦隊員は技術者不足、人手不足を補う役務提供者として期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○**学歴**; 助産婦学校卒。○**取得資格**; 助産婦。○**実務経験**; 助産婦として3年以上 (在学中の実習期間はふくまない)、地方勤務の場合、隊員だけで分娩介助をすることもある。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9月 30日

511 助産婦

調査者氏名 新田 慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	mid wife	(女) 2 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 56年10月迄に現地到着のこと
	助産婦		

1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Health
 (日本語): 保健省

2. 隊員勤務先名称: Queen Elizabeth Central Hospital 日本語名称 (クヱーンエリザベス中央病院)
 所在地: ブラズワヤ 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 当国にある中央病院の一つ。外来(有料・無料)と病棟(ベッド数585床) 外来は主に内科・外科・眼科・歯科・産婦人科・小児科。

4. 設備概要: 手術室(一般外科用1、眼科用1、産科用1)、中央材料室、給食室、検査室、理学療法室、レントゲン室、附属学校(看護婦、助産婦、medical Assistantの養成)

(2) 隊員の業務内容:

- ・業務上の地位: staff nurse (正看護婦に相当)
- ・技術の範囲: 分娩室において分娩中/期の観察及び処置、入院の際の診断(正学分娩の可否) 分娩時の観察及び処置(側切開及び経合) 吸引分娩、骨盤位導出術、分娩誘発(薬物使用による)、未見の吸引(本生直後) 膈処置、諸訂測、産後病棟において一帯至切開後の包帯交換及び扱糸、側切開後の縫合部位の観察と退院の決定、内服薬の処法、点滴及び輸血の実施。
- ・業務の形態: ① 7:30am~4:30pm ② 7:30am~1:30pm ③ 1:30pm~7:30pm ④ 7:30am~1:30pm, 1:30pm~4:30pm 休中 ⑤ 4:30pm~7:30pm ⑥ 7:30pm~翌朝 7:30am (Night duty)

・カンファクトの技術水準: 学歴: 助産婦業務に関して、日本では医師の行なう範囲を行なう。学歴: Staff nurse は secondary school の form IV E 及び J. M. C. E. (Malawi Certificate of Examination) に合格している者看護婦学校へ2年間行き、その後助産婦学校へ2年行き資格を得たもの。 Enrolled nurse は secondary school の form II E 及び J. C. E. (Junior Certificate of Examination) に合格したものが看護婦学校へ2年行きその後看護婦の資格を得たもの。 年齢: 20才~36才くらい

・使用言語: 英語、チエツ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

柴田裕子、岡本敦子隊員の交代

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 高卒以上
- ② 看護婦、助産婦資格
- ③ 経験3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9月 12日

512 保 健 婦

調査者氏名 山下 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
ネパール	(現地公用語) Public Health Nurse	(男) 人	訓練開始 1981年 9月 6日
	(日本語) 保健婦	(女) 1人	派遣予定 1981年 9月 10日
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月 迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Health, Department of Health Services
(日本語): 保健省 保健局

ロ. 隊員勤務先名称: Central Chest Clinic 日本語名称 (中央結核診療所)
所在地: カトマंडウ市, 中央部 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 約30年の歴史を有するネパール最大の結核診療所。非常勤も含め
結核専門医5名 病床はなく外来治療を行っており、1日の外来患者数は200~400人
1日平均新患者数40~50人、診療、検査、薬局、結核予防、衛生教育部内に分かれる。

ニ. 設備概要: 2階建ビル (1F 診療用, 2F オフィス), X線装置 (直接、間接共) 但し故障
あり。顕微鏡。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は結核予防、衛生教育部内に所属し、患者家族に保健指導
家族検診、ツバルグンテスト、BCG接種、スライドでの集団衛生教育に従事
家庭訪問を必要に応じて行う。

① 業務上の地位: 保健婦 (Public Health Nurse)

② 技術の範囲: 保健技術指導が要求される。Health Education が看護婦、保健婦のチーフ
できるまでになっているので患者、一般の人に指導すると同時に、スライドに
指導法を教える。ツバルグンテスト、BCG接種法についてもスタッフ、学生に教える。
各種衛生統計技術も必要。

③ 業務の形態: 結核予防、衛生教育部において他のスタッフ (1~2名) の指導、直接患者への働き
かけ。必要に応じて他と連絡をとる。現在活動中の馬場隊員は、新設された
Motivation Room の管理も任されている。スライド活動は TB Control Project
の Public Health Programme に参加している。

④ 対象者: 保健指導の対象患者家族は文盲が多い。カウンターパートは申請しているが不在。

⑤ 使用している機材: 衛生教育用材料: スライド、プロジェクター、モデル (結核9種類)

⑥ 母国人: なし

⑦ 使用言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ネパールはWHOの指導のもとに結核医療が積極的に進められているが、衛生教育指導者
として適当な人材が不足している。保健活動は患者に対する個別指導、学校、村を
対象とした集団保健指導が含まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

保健婦資格 (3年の実務経験 (結核))

単車免許がある方がよい

交替要請 (馬場新子隊員)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 日

調査者氏名 本田 浩二 籍貫 千葉県

調査者氏名 鶴巻 法兵衛

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	Enfermera (Salud Publica)	10人 (男) ; / 人 (女) ; / 人 (どちらでも可)	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期陽5年 8月迄に現地到着のこと
	保健婦		

(1) 配属先 MINISTERIO DE SALUD PUBLICA Y ASISTENCIA SOCIAL 厚生省

1. 配属先名称 (現地公用語): DIVISION DE ENFERMERIA

(日本語): 保健総局看護課

ロ. 隊員勤務先名称: 国内を巡回指導 日本語名称 (国内各地)

所在地: REGION DE SALUD N° 2-3-4-5-6-7 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 厚生省はホンデラス政府の保健、衛生、医療の統轄機関で全国を8地区(中央1、地方7)に分室し行政を行っている。国内人口約350万人に対し厚生省所属の医師、665名、正看護師277名、准看護師2,275名、病院数(国立5、地方7、県立6)診療所(医師常駐=74、看護師のみ=361)

ニ. 設備概要: 病院には不十分ではあるが医療機器、手術器具、薬品等が整えられている。診療所は基本的な器具と医薬品のみ。

(2) 隊員の業務内容:

ホンデラスでは一般民衆に対する保健、衛生、医療に関する教育の普及が遅れており、経済的な貧しさから、大数の住民は健康を維持するだけの栄養摂取もできず、傷病の際にも必要な医療を受けられない状況が続いている。
 [1978年の厚生省統計] 文盲率48%、平均寿命55才、死亡率1000、栄養不良15才以下の70%、35才以上の成人人口の6.6%、上水道普及率44.9%(地方10%以下)、下水道(トイレ)27.6%(地方5%以下)

隊員は厚生省看護部に配属し全国各地の病院、診療所にて看護師、准看護師に対する技術教育指導(実習、講義)及び講習会を実施するほか一般住民に対する保健、衛生、医療の基礎知識普及の啓蒙活動として地方巡回指導を行う。

- ① 隊員の業務上の地位 = 看護部指導教官、巡回指導改良委員
- ② 技術の範囲 = 指導対象者が厚生省の看護師と地方住民であるところ看護知識、技術とともに公衆衛生、保健など幅広い分野での活動が予想される。講習会の企画、実施、教科書、教材の作成も期待されている。現地看護師には技術水準の向上とともに、看護手法、業務態度の習得も必要とされている。
- ③ 対象者 = 現地看護師、地方住民、カウンターパートは厚生省及び地方配属の看護師から選抜する。
- ④ 業務の形態 = 時間割 午前8時~12時、午後2時~5時
- ⑤ 現地で利用できる機材、業務が病院か診療所かによって異なるが日本的な水準は全く期待できない。貧しい前提としいかに保健、衛生、医療の向上をはかるかは、隊員の創意、工夫、指導にかかっている。
- ⑥ 専門家 3人の配置 = 米岡平和部隊(一般看護及び職業療法士等)
- ⑦ 使用言語 = スペイン語

3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ホンデラス初の保健、衛生部門からの要請である。他の配属先行の隊員活動が評価され公式要請となったことで厚生省では隊員に対し、現地看護師の技術水準の向上、看護手法、業務態度等の指導、カウンターパートの育成、教科書、教材の作成、講習会、地方巡回指導による啓蒙活動等、期待している。

4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

正看護師資格取得後2年以上の実務経験、短大卒以上、地方での活動には必要と思われる環境が予想されること、健康で明るい性格でなければ務まらない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 10 日

821 臨床検査技師

調査者氏名 新井 隆子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	臨床検査技師	(どちらでも可) 2人	受入期限 <u>56</u> 年 <u>10</u> 月に現地到着のこと

1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Health
 (日本語): 保健省

2. 隊員勤務先名称: Queen Elizabeth Central Hospital (日本語名称: クイーンエリザベス中央病院)
 所在地: ブラザワイ 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 検査業務にあたる者: マラウイ人16名, JOCV隊員2名
 内容: 血液学, 血清学, 一般寄生虫検査, 細菌検査, 生化学検査, Blood Bank

4. 設備概要: 細菌室の設備: オートクレーブ2台 (うち1台は使用可能), 1台のみ, 3-6P器 2台, 顕微鏡 2台, ガスバーナー 2台

(2) 隊員の業務内容:

・業務内容: ①コレラ菌のスクリーニング ②各検体の培養, 分離, 確認, 菌定, 感受性試験
 ③サルモネラ, シジヤの検出 ④トリコモナス, カンジダの検出 ⑤各種培地作り
 ⑥髄液中の細胞数算定, 培養 ⑦髄液, 浸出液などの細胞染色 ⑧実習性の細菌について説明 ⑨水中細菌数の検査 ⑩食品中細菌数の検査

・業務の形態: 一般の検体 (尿, 髄液, 糞便, 血液, 膿, etc) はマラウイ中の病院から集
り, コレラは southern region および central region の一部から集め, 夜勤は
ない。

・同僚 (マラウイ人): 47才, HL=27, スケル率, 27才専門医検率 (細菌室)
 ・外国人: 検査室に VSO (英国の検疫) のドクター 1人

・使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

則 4代子, 産屋祐子 隊員の交代

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 専門検校率以上
2. 臨床検査技師 資格
3. 実務経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 10 月 20 日

521 臨床検査技師

調査者氏名 坂牧 嘉 昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サエ	(現地公用語) LABORATORY	(男) 人	訓練開始 56 年 4 月
	ASPECT OF FILARIASIS	(女) 人	派遣予定 56 年 8 月
	(日本語) 臨床検査技師	(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF HEALTH

(日本語): 厚生省

2. 隊員勤務先名称: DIVISION OF PUBLIC HEALTH
FILARIASIS CONTROL UNIT

日本語名称 (公衆衛生局
フィリッパ抑制班)

所在地: アピヤ (APIA)

主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: WHO と西サエ政府が共同して実施している計画。スタッフは WHO の専門家 2 人、サエ人専門家 2 人、サエ人職員 8 人、共同 2-2-3 人、協力隊員 2 人。1) ENTOMOLOGY TEAM (フィリッパ媒介蚊研究チーム) と、2) PARASITOLGY TEAM (フィリッパの検査、治療、研究チーム) がある。

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 隊員は上記 FILARIASIS CONTROL UNIT の 220 SECTION の中の一つ PARASITOLGY TEAM の一員として業務にたずさわります。

② 技術の範囲: 血液の採取、分析、検査 (顕微鏡)、統計処理。

③ 業務の形態: フィールドと石研究室。こちらの目標は 9,000 人の血液検査。

地方村落の住民から採血し、研究室に持ち帰り、そこから住民がフィリッパ症に感染しているかを調査するとともに、治療後の追跡調査も行う。WHO に基づく標準に基づいて、全土の業務が計画され実施される。

④ 対象者の技術水準: 技術指導の対象は上記サエ人職員 2 名ですが、その「顕微鏡操作と読み取り」は大変難しい。しかし「何%濃度の溶液の作り方」などは基礎的な計算方法、知識が不足している。

⑤ 利用できる機械: WHO, JOLCV 双方から基本的な機器、薬品等は整備されている。

⑥ 外国人の専門家: 上記のとおり。

⑦ 使用言語: 英語、サエ語 (現地) 独習中。

⑧ 今後予定される業務: (1) 検査、特に犬を対象としたフィリッパ検査 (2) フィリッパ症に罹る国民への教育、(3) フィリッパと媒介者に対する対象としての感染源調査、(4) 治療、(5) 治療後の追跡調査。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

本プロジェクトは、1965年8月~1966年9月の第1回と、1971年1月~12月の第2回の2回にわたる撲滅計画にも拘らず、根絶おこなえず、WHO はこれを根絶に望みを行っている。WHO とは本プロジェクトを 1980 年までに終了する予定であるが、フィリッパ症根絶には十分な相違ない年が必要と思われる、JOLCV 等によるサエ人スタッフの指導が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

臨床(衛生)検査技師免許を取得していること。
2年以上の検診経験者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 10 日

523 作業療法士

調査者氏名 吉 満 博

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
マレーシア	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始	年 月
	Occupational therapist	(女) 人	派遣予定	年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 1人	受入期限	年 月迄に現地到着のこと
作業療法士				

1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Spastic Children's Association Johore.
(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Spastic Children's Association Johore 日本語名称 (マラッカ・チリルリス・スクール)
所在地: ジョホール市内 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 脳性小児及び身体障害児の回復訓練施設 (小児科の中等科と併設) を施設内に組織した民間慈善団体により運営されている施設。政府補助金及び協会等が運営を助けている。児童数 60人。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

業務上の地位:

Spastic School には、政府より雇われて 3人の先生その他、4人の補助員が子供達の訓練に携わっている。過去、理学療法士および言語療法士は、英国 Volunteer の配属された。隊員は、27-27 の一員として配置される。

業務の内容:

- 1). 児童 (3才〜21才) と、年齢別グループ、性別グループ。あるいは、個人個人に適った精神および身体の機能回復訓練のための省活動に従事。
- 2). 週一回の 27-27 連絡会議、その他の委員会に参加する。

業務形態:

勤務時間 (月〜金) 8:15〜16:15. (金曜日は、15:00 終了)。土、日は休み。

対象者:

入所者は、希望者の中から、Medical X-ray、X-ray、シーリング等の審査を経て決定される。ジョホール州各地から入る 27-27 バス (専用) の通院。遠隔地の児童は在在の施設 (Cheshire Home) に預けられている。

使用言語:

マレー語 但し 27-27 間は英語が多用される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同世代には、基本的には、ボランティアの奉仕活動に与って与えられているが、資格と要員の確保が難しく、海外の Volunteer 組織に依存している状況にある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 作業療法士

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 10 日

525 薬 劑 師

調査者氏名 新田慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
マラウイ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	Pharmacist	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) / 人	受入期限 <u>56</u> 年 <u>10</u> 月に現地到着のこと
薬 劑 師			

1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Health
 (日本語): 保健省

ロ. 隊員勤務先名称: Kamuzu Central Hospital 日本語名称 (カムズ中央病院)
 所在地: 1125 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 薬剤師1名、薬剤師助手6名 ①外米入退院処方の調剤 ②消毒薬水剤、軟膏等の製剤 ③地域病院、NLSセンターの医薬品供給 ④病棟手術室、各外米部内の医薬品、衛生用材、手術器具等の供給

ニ. 設備概要: 外米薬局、入退院患者、部外米患者向けの窓口、製剤室、カムズ錠剤注射剤用倉庫2、衛生用材、手術器具用倉庫1、衛生材料輸液、製剤原料用倉庫1。

(2) 隊員の業務内容:

- ・業務上の地位: 薬局責任者
- ・技術の範囲: 製剤、在庫管理等の指導
- ・業務の形態: 薬剤師助手6名と外米調剤2名、入院調剤2名、製剤2名の割で配置。
- ・業務内容: ①病棟、医師からの問い合わせ、苦情の処理
 ②医薬品、衛生材料、手術器具等の在庫管理、注文
 ③地域病院、NLSセンターの医薬品供給

・加付レポート: 助手6名のうち5名は今年3月 Pharmacy Assistant Course 3年終了後就職。年令25~30才。技術水準: 調剤、製剤に関しては在学中に実習済みのため日常業務に問題なし。現隊員が在庫管理、注文等のオアシスワークを指導中。

・オアシス人: なし
 ・使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

薬原薬子隊員の交代

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 国連大学卒
- ② 薬剤師免許
- ③ 実務経験1年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 10 日

525 薬 劑 師

調査者氏名 新田慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	PHARMACIST	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) / 人	受入期限 <u>56</u> 年 <u>10</u> 月に現地到着のこと
	薬 劑 師		

1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Health
 (日本語): 保健省

ロ. 隊員勤務先名称: Medical Auxiliary Training School 日本語名称 ()
 所在地: リロング 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: clinical officer, dental, laboratory, pharmacy の各コースあり 生徒数約250名

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

・業務内容: laboratory 及び pharmacy assistant の 2 コースを兼持ち、数学 2 両コースの 1 年生に 専任 galenic (本草学) と pharmacy assistant のコースで教える。galenic は実習。薬品は不足している。各コース 3 年コースで 1 年生は実習生として病院に配属される。laboratory, pharmacy は各約 10 名の生徒。兼持ちの教科は自己程度で選択できる。

・外国人: 1 人 専任教 2 名 現僚員 1 名 (他に 2 名の マラウイ人が上記の 2 コースを兼持っている)

・使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

山本恵子隊員の交代

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 大学卒
- 薬剤師免許
- 英語で授業を行うため 英語に堪能なこと

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 13日

550 公衆衛生

調査者氏名 山口 廣治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (サバ州)	(現地公用語) Environmental Research Officer	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 環境調査官(化学分析)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Man power and Environmental Development
(日本語): マニパワー及び環境開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Environmental Section 日本語名称 (環境調査部)
所在地: Kota Kinabalu Sabah 主要都市からの距離 (K.Kより2キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サバ州の産業水(三可等) 大気 騒音(建築) 鉱山 等を中心
調査事業等から、現在及び将来に渡り環境汚染の原因となるものを
調査し、その対策及び計画等について業務を行っている。

ニ. 設備概要: 1976年に設立された省で総スタッフ20人程度の規模で運営
されているが、人材が不足し化学分析等の設備もまたなく車内家到着後相談購入予定。

(2) 隊員の業務内容:

- ①業務上の地位 --- 環境調査調査官 (Officer)
- ②技術の範囲 } ... 環境開発省としてもまだ汚染等についての実績が少なく自康ある所の
- ③業務の形態 } 水等を採集しそれを他局の化学分析所へ送りその結果を得てそれを
構っている程度で、自分の高として独自の分析技術を持っていない。現在
及び将来に渡り産業水、大気、騒音、海等の汚染対策の必要や対応
何となく感じているが、摸索の段階であり、何となく良いか悪いかの
状況でもある。従ってこの状況を化学的に分析し、その結果を基本資
料とする等について具体的に指導する必要がある。化学分析調査官
が必要とされている。隊員は野外での調査採集等を行っている。また
物についての分析を行う具体的な業務及び基本資料の作り等が重要と
なり、加えて状況分析等も出る人であれば、ハートと思われる。
- ④対象者 --- 特に予定されていないが、担当 Officer の中より実力のあつた人を担当する
事になる。(22才〜25才程度)
- ⑤機材 --- 現在何もなく車内家到着後に相談購入の予定。簡単な分析機材
があるが、それは持参した方がよい。⑥他国のホスピタリティは厚い。
- ⑥使用言語 --- 英語 (英語実力ある人はマレー語でも可)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 設立5年目を迎えているが、適当な人材が不足
しており業務の進展がみられず、スタッフも若い人が多く、技術的にも未熟で
あり、今後とも実務面の改善が困難であり、海外からの適当な技術力を
加望している。この要請は、52年頃から話し合い、再度具体的な内容と
して要請したものであり、J.O.C.V.に対する期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 1. 環境科学 又は 化学工業学、又はこれらに関連する資格のある者かある
- 2. 分析化学の実務経験のある者か、必ずしも環境科学についての
経験がある人でも可と思われ。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年3月31日

550 公衆衛生

調査者氏名 内田 桂吉

伊藤

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語) Entomological Aspects of Filariasis	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 昆虫学 (フィラリア)	(女) 人	派遣予定 56年 4月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年 4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): ~~Ministry of Health~~ Ministry of Health
(日本語): 厚生省
- ロ. 隊員勤務先名称: Division of Public Health, Filariasis 日本語名称 (フィラリア-コントロールプロジェクト)
所在地: Control Unit Apia 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: W. Samoa 政府と W.H.O. 合同による Filariasis Research Project
で主要メンバーは W.H.O. Dr. 2名, サモア人チーフ 2名で他に10名程の現地人 workers と日, 米 volunteers から成る。
- ニ. 設備概要: 6-7台の顕微鏡と車2台 (ランドローバー 1台を含む), その他簡単な実験器機がある。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: W.H.O. Entomologist のアシスタント。
- ② 技術の範囲: 媒介蚊等の同定, 分類, また野外調査を行う。
- ③ 業務の形態: 野外調査活動
- ④ 対象者の技術水準: 1年~数年の経験者もあり蚊の同定等を手がけてはいるが
高くない。細かい部分での細かい指摘等が必要。
- ⑤ 利用できる機材: 現在顕微鏡等は台数も増え便利。但し今後の
活動が control となるため、必要機材が新たに生ずる可能性大。
- ⑥ サモア人の専門家: WHO より日本人 Dr. 1名 (Epidemiologist), インド人 1名
(Entomologist)
- ⑦ 使用する言葉: 英語およびサモア語 (職場では英語でこと足りる)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在サモア人血液中のフィラリア幼虫感染率が上昇しており
この Project はその阻止が最終の目標である。昆虫班は媒介蚊の調査およびその control を
任している。W.H.O. Dr. と現地人 workers の間においてその橋渡しをすることが
我々に望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 大学で昆虫学を専攻した者が望まれる。経験不要。
- 野外活動に興味を持つ者が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 7 月 20 日

ガンビア

60103 在庫管理

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガンビア	(現地公用語) Store Management Adviser	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 部品管理主任	(女) 1 人	派遣予定 56 年 8 月
		(どちらでも可) 1 人	受入期限 56 年 8 月迄に現地到着のこと

1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works and Supply, Mechanical Services Department
(日本語): 建設供給省 車輜整備事業局

ロ. 隊員勤務先名称: Lusaka Central Workshop 日本語名称 (ワヤヤ中央事業所)
所在地: ワヤヤ市 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 建設供給省は全土に 58 か所の地方作業所を持ちルサカ中央作業所が本部となっている。同事業所の敷地は約 20 エーカーあり 30 の作業部門に分かれている。主なもの、自動車整備 (大型小型)、重車輜 (建設機械)、ホンダ車、電装、工作機械、エンジン、VIP (大臣車専用)、部品庫、溶接、板金、塗装、車検場、訓練所等がある。当事業所には局長 (白人) 以下 9 名の専門技術者 (ガンビア人 5 人、フィンランド人 2 人 (コナラフター-I)、インド人 2 人 (コナラフター-II)) がおり、その下に管理職 50 名、現場作業員 750 名、事務職員 70 名が働いている。政府の保有車輜台数は約 1 万台あり、その内、半分しか稼働していないのが現状である。

ニ. 設備概要: 当事業所の保有車輜は 3000 台あり、それぞれ 23 か国から輸入したものである。1 日の平均修理能力は 20 台前後であり、多数の熟練工が地方作業所よりくる故障車の修理にみこんでいる。各整備部門は機械類が完備し、日本の大修理工場と変わりなく、曲りなりに稼働している。55 年度事業所得年間予算は 1300 万 Kwacha (約 40 億円)

(2) 隊員の業務内容: ① 地位: Stores Management Advisor

② 業務の範囲: 150 名の現地スタッフに対して、主として部品の管理法及び手続についての効率的、合理的システムの開発とその導入に伴う訓練指導及び目力を与える。

③ 形態: 新システムの開発導入に伴い、現場での実地指導及び訓練所での講習指導を行なう。

④ 技術水準: 部品在庫の把握が不正確なため、部品の紛失、ミス、盗難が多く、管理能力が低く、又、システム化された部品管理ができていないので、常に非効率であるのが現状である。

⑤ 機材: 各種マニュアル類は資料室に完備。部品解読室、カード室、部品分類室、部品庫 (Land Rover, Leyland, Fiat, 日産, トヨタ各種独立部品庫あり)、部品発送室

⑥ 外国人: なし

⑦ 言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同事業所は、政府機関車輜部門の中において部品の量、車輜台数、訓練施設、スタッフ数などこれとてガンビアで最高水準にある。しかし、部品管理能力の点では低く、ズサンな面が多い。又、近年各国から持ち込まれる車輜が多様化してきたことにより、部品管理能力の開発とその改善方法 (システム化、合理化) につき訓練指導することが要請されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ① 大学 (倉庫管理あるいはシステム工学履修) 卒業以上 ② 自動車部品会社等の部品管理監督経験 7 年以上 ③ 年令 30 歳以上 ④ 奥検 2 級以上の実力者 ⑤ 教授経験者 ⑥ 工場管理能力のある者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54年 11月 20日

605 考古学

調査者氏名 鶴巻法岳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
REPUBLICA DE HONDURAS	(現地公用語)	(男) 2 人	訓練開始 年 月
	ARQUEOLOGIA	(女) 人	派遣予定 1980 年 8 月
	(日本語) 考古学	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 SECRETARIA DE CULTURA Y TURISMO 文化観光庁

1. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO HONDUREÑO DE ANTROPOLOGIA E HISTORIA

(日本語): 国立人類学歴史研究所

2. 隊員勤務先名称: DEPARTAMENTO DE ARQUEOLOGIA 日本語名称 (考古学部)

所在地: TEGUCIGALPA, D.C. 首都 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 人類学歴史研究所と人類学博物館。フロン支部からなり、約60名の職員に
 1) 運営されている。特に重要地域には地誌ごとに数人の職員が派遣されている。歴史的に見ても
 ホンテラスはマヤ文化繁栄の地であり、少人数ではあるが保護、調査のため専断的に業務にあつてゐる。

2. 設備概要: 研究所には約2,000冊の蔵書、約3,000冊の雑誌、研究誌の他、各種地図資料
 を有する。(書籍のほとんどはスペイン語か英語)

(2) 隊員の業務内容:

ホンテラスにはマヤ文化繁栄の地、フロンを始め世界考古学史上、貴重な先史時代の遺跡が多数存在
 している。しかしながらホンテラスには考古学の専門家、研究者が少なく、十分な調査研究、保護ができてお
 り、未発掘の遺跡も多い。同研究所では特に La Virgen (テグシガルパ北東約30km) Travesía (テグシ
 ガルパ北北西17.5km) Puhapanzak (テグシガルパ北西130km) の3地域について重点的に発
 掘、調査、資料作成を希望している。

① 隊員の業務上の地位 人類学歴史研究所 技官

② 技術の範囲 遺跡の発掘、調査、資料作成、保護、管理計画等 可能ならば発掘品の修復

③ 業務の形態 テグシガルパ市内 研究所にて資料作成等の業務にあたる(午前8時~午後4時
 月曜~金曜)ほか上記3か所をはじめとした各地の調査、発掘、保護を行う
 ものでしばしば長期出張が課せられる。

④ 対象者 研究所職員、ただし発掘調査には大学生の協力を得られるほか現地に必要に
 応じ労働者(有給)を募る。

⑤ 現地で利用される機材 ジープ、発掘用器具、資料作成用事務用品。

⑥ 専門家3国人の配置 アメリカ人専門家1名

⑦ 使用言語 スペイン語 ただし同研究所にある書籍、資料には英文のものが多数あり、その有効
 利用にはかなりの高度な英文読解力を必要とする。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

考古学に関しては現在まで欧米の各機関、大学等が発掘調査を行った経緯にあるが、その資料の
 ほとんどがホンテラスに環遊されておらず、国民のための貴重な文化遺産として遺跡の調査研究
 発掘、保護にあたるべく、水準の高い日本の青年を要請して来たものである。

* スペイン語資料(考古学要請)は非営利に保管されており活用願います。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学および大学院にて考古学か文化人類学を専攻したもの。アメリカ先史専攻者が最も望ましい。
 発掘調査修復の経験、技術も特に必要とする。英語、西語についても高い能力を必要とする。
 普通自動車(4輪車)運転免許

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54年 9月 11日

606 生態学

調査者氏名 山口 康治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (サハハ州)	(現地公用語) Zoology (Animal Ecology) (日本語) 動物学 (動物生態学)	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) / 人	訓練開始 年 月 派遣予定 55年 9 月 受入期限 55年 9月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 文部省 (国立クワンサ大学サハハ校舎)

2. 隊員勤務先名称: Universiti Kebangsaan Malaysia Sabah (日本語略称: マレーシア大学サハハ分校)
所在地: Lock Bag, 62 G.P.O. Kota Kinabalu Sabah 主要都市からの距離 (北より 6キロ)

3. 事業規模及び内容: この大学のサハハ分校は自然科学や自然資源の学部として1979年、学部長の先頭でスタートされた。学部は5部門あり、即ち生物学部、化学部、物理学部、数学部及び地球化学部である。各部門には何人の講師、準教授、教授

4. 設備概要: 教授部員として在籍するに、現在学生数は96人、教授部員7人、管理職員15人程度、24-1としたが、1985年には新校舎完成し、約600人の学生を定員計画にする。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の地位... 動物学部の講師 / 準教授 / 教授の授業部員

② 技術の範囲... 2年生及び3年生コース内の動物学の講義を行ない、授業や研究に備える。

③ 業務の形態... 設備等の準備を行なう。学科コースには Biometrics や Biostatistics などの統計的合算を含む。又4年生の動物学や生態学についての講義を行なう。

④ 対象者... 19才~22才程度の学生で、1752 現在 20~40人程度

⑤ 機材... 授業や研究に必要な機材及びホラニテ印が必要とする機材はほとんどが大学が準備する。

⑥ 外国人... 現在はいないが、将来米国及び、独国のホラニテ印等と一緒に仕事をしたいと希望する。

⑦ 使用言語... お互いの講義はマレー語で行われる。
(通訳者のほとんどが英語を解するが、英会話は練習しておいた方がいい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

この要請はこの大学の校長である Dr. Yusoff Hamid 氏によっても行われた。氏は大学教育の大切さを常に語っており、日本の大学教育についても理解をよめている。日本の優れた若い学者が、途上国の自然化学の分野で新風を吹き込み、その方向となり、それによりマレーシア大学の知識向上を支援してほしいとの期待がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大学の修士又は博士課程の資格を有する者又はそれと同等の資格を有する者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 65 年 3 月 19 日

607 動物学

調査者氏名 山口 廣治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (サバ州)	(現地公用語) Zoology (Vertebrate Zoology) (日本語) 動物学(脊椎動物学)	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) / 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education

(日本語): 文部省

2. 隊員勤務先名称: Universiti Kebangsaan Malaysia Sabah (日本語略称: マレーシア国立大学 サバ州分校)

所在地: Lock Bag. 62 G.P.O. Kota Kinabalu Sabah 主要都市からの距離 (Ktより) 6キロ

3. 事業規模及び内容: この大学のサバ州分校は自然科学や自然資源の学部として1977年、学部長の先頭でスタートがなされた。学部は5部門あり、BPS 生物学部、化学部、物理学部、数学部及び地球化学部である。各部門には何人かの講師、準教授、教授

4. 設備概要: 外授業部員として在籍する事になる。現在学生数は96人、授業部員7人、管理部員15人程度で24-1としたが、1985年には新校舎完成に伴い、600人の生徒を定員計画にする予定。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の地位: 生物学部の講師 / 準教授 / 教授としての授業部員

② 技術の範囲: 2年生及び3年生のコース内の動物学の講義を行い且つ授業や研究に備えて設備等の準備を行なう。学科には脊椎動物の生物学や動物組織学、そして生物体の解剖学等も含まれる。またさらに大学内における標本博物学や4年生の動物学における実習プログラム等の計画を行なう。

③ 対象者: 19才~22才程度の学生で1クラス現在20~40人程度

④ 機材: 授業や研究に必要な機材及びホスピアリティが必要とする機材は殆ど全て大学が準備する

⑤ 外国人: 現在はいないが将来米国及び、独国のホスピアリティ等と一緒に仕事をしようとする予定。

⑥ 使用言語: 大学の講義はマレー語で行われる。(資料は英語の資料が多い)
(調査者のほとんどが英語を理解するが英会話は練習しておいた方がいい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

この要請はこの大学の校長である Dr. Yusoff Hamid 氏によっても行われた。氏は大学教育の大切さを常に語っており、日本の大学教育についても理解を深めている。日本の優れた若い学者が、途上国の自然化学の分野で新風を吹き込み、その方向となりて来てもいい。マレーシア大学の知識向上を支援してほしいとの期待がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大学の修士又は博士課程終了の資格のある者、又は同等の資格のある者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9月 17日

608 地 質 学

調査者氏名 谷川 幸志雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定	
	(現地公用語) Geophysics or (日本語) Geology / Geochemistry	(男) 人	訓練開始	年 月
	地学(地球物理学又は地球学)	(女) 人	派遣予定	年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限	年 月迄に現地到着のこと

1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 文 部 省

2. 隊員勤務先名称: Sabah Campus University Kebangsaan Malaysia (日本語名称 国立マラヤ大学サバ州校舎)
所在地: Beg. Bekunci No. 62, Pejabat Besar Pos. Kuching (主要都市からの距離 (KKより約6.キロ))

3. 事業規模及び内容: この分校は自然科学や自然資源の学部で、1979年6月に創立されたばかりで、学生数は現在1、2年生合わせて170人程で全学概して学部は1学部、生物部、物理部、地学部、数学科の5部門である。各部門には数人の教授、准教授、講師が在籍している。スタッフは、
4. 設備概要: 現在校長1人副校長2人准教授講師(26人以内(女性) 21人)助教(11人) 実験用講師5人、教務講師2人、助手約10人、事務系職員を合計約55人程で構成されている。1985年には新校舎完成予定に伴ってスタッフ90人、600人の学生を予定された計画となっている。

大学内には事務室、講義室、講義室、実験室、各講師事務室、講師室、学務室がある。実験室の設備は設置はされていない。また、現在この設備は日本の高校以下のレベルである。

(2) 隊員の業務内容: ① 地学部 の 講師 又は 准教授

② 技術的範囲: 1、2年生及び4年生コース内 地学の講義を行いたい。授業や研究に
③ 業務の形態: 備えて設備等の準備を行いたい。現在大学のレベルと同一時間の講義と毎週初生徒数によるコース1回実験約2~3時間を担当する予定。又、4年生の地球物理又は地球化学についての専攻プロジェクトの計画を行いたい。

④ 対象者: 18才 ~ 22才 学生で1クラス約20~40人程度 実験の際は1人の助手と共に行いたい。この部門に経験者はほとんどいない。

⑤ 機材: 授業や研究に必要な機材及びボランティアが必要とある物は、学校に備えて大学が準備する。現在は最低限必要な実験用機材のみ。

⑥ 邦国人: 1人(生物部) 1人(ドイツボランティア)、生物部2人(アメリカ、ドイツボランティア) 物理(アメリカボランティア) 地学2人(アメリカボランティア) 数学3人(アメリカボランティア、ドイツボランティア) 計10人

⑦ 言語: 講義はすべてマレー語で行われる。(教員会議等ではマレー語、英語の両方が必要とある。英語能力が少しでもあると望ましい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

この要請はこの大学の校長である Dr. Yusoff Hamid 氏により行われた。氏は大学教育の大切さを常に言っており、日本の大学教育についても理解を示している。日本の優秀な若手学者が毎週土曜日の自然化学の分野で新風を吹き込み、その方向性や成果を示してもらい、マレーシアの学生が知識向上を支援してもらいたいとの期待がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大学の修士又は博士課程修了者 又はそれと同等の資格を有する者。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 **53**年 **9**月 **20**日

611 秘 書

調査者氏名 **柳井 進**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 54年 4月
	(日本語)	(女) 1 人	派遣予定 54年 8月
	秘書	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語):

(日本語): **在チュニジア協力隊事務所**

ロ. 隊員勤務先名称:

"

日本語名称 ()

所在地: **No.13 Rue Abou Hayane, El Menzah VI** 主要都市からの距離 () より キロ

ハ. 事業規模及び内容:

専任在員、調整員、チュニジア人秘書(男)

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

在チュニジア協力隊事務所において、いわゆる秘書業務のすべてを行なう。この中にはお茶くみから、文書処理、電話応待、場合によってはチュニジア政府との連絡まであるが、本人にやる気があれば、さ程、難しい業務ではない。また本人の勉強の意欲があれば、語学校で英語、フランス語についてブラッシュアップすることもできる。

◎ 本来フランス語が第一要件となるが、必ずしも現在フランス語に堪能でなくとも学ぶ意欲のある人物であれば可。

現在チュニジアで活躍中の各業種の隊員を支援する立場の隊員であり、この立場上の認識を十分もって業務に当ることが必要である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

秘書業務の経験あること。仏文(英文)タイポの打てること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 7 月 25 日

ザンビア

611 秘 書

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Secretary	(男) 人	訓練開始 56 年 6 月
	(日本語) 秘書	(女) 1 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 10 月 受入期限 56 年 10 月に現地到着のこと

1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Japan Overseas Cooperation Volunteers Office in Zambia

(日本語): 青年海外協力隊 ザンビア連絡事務所

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)

所在地: P.O.Box 30027 LUSAKA 主要都市からの距離 (中心より 5 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 隊員数 約 40 名とかわえる協力隊活動の支援

ニ. 設備概要: 一戸建家屋: リビングルーム 1, オフィスルーム 3, 倉庫 宿泊所 (7x4 畳), 台所, 風呂場, トイレ, カラーシ, かなり広い庭, サーバントフォー

(2) 隊員の業務内容: ① 地位: Secretary

② 技術の範囲等: 新隊員要請に関する文書類発送 (交代隊員要請及び新規受入希望調査表)

③ 業務の形態

- ・新隊員到着前後手続 (受入確認, 配属先の通知, オリエンテーション現地訓練 P+カン引取 など)

- ・帰国隊員手続 (帰国手続についての説明書, 帰路変更届等の発送)

- ・機材引取 (無税証明, 輸入許可証の申請, エンジン等の照会, 隊員名簿)

- ・年間行事 (隊員名簿等の作成, 健康診断に伴う写真の撮影, フェア以外整理)

- ・備品・消耗品の管理 (寝具の貸出し, 薬品, 電話, 図書, 消耗品購入)

- ・郵便物管理 (隊員宛及び事務局宛発送郵便物, 外来発信のフェック)

- ・支払い業務 (水道光熱費, 通信運搬費, 車庫保険 など)

- ・その他 (テレックス解説, 新聞記事切り抜き, お知らせの掲示, 番付記, 清書)

④ カウンターパート: なし

⑤ 機材: すべてそろっているが 黒板 1, 掲示板 1 の要請を願った (現地購入不可)

⑥ 外国人: なし

⑦ 言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 海外連絡事務所とはいえ, 読み, 書き, 話すことにおいて, その 60% は日本語使用の業務であり, 事務員としての現地雇人ではカバーしきれない部分が大部分を占め, 秘書隊員への期待は大きい。そのほとんどが雑用であり, 地味な仕事であり, 日常は煩雑を極めるので, なんとかやる気があり, 臨機応変な処理ができる人が望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ① 英文タイフ

② 英語堪能 ③ 交渉能力, 積極性があること ④ 実務経験

3 年以上 ⑤ テレックス経験者 ⑥ 業務上知り得たすべての事項

について絶対に他言 (特に隊員, 上司者)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年9月10日

620 プログラマー

調査者氏名 新田 慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) PROGRAMMER	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) プログラマー	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 55年10月迄に現地到着のこと

● 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Finance*
(日本語): 大蔵省

2. 隊員勤務先名称: *Data Processing Unit* 日本語名称 ()
所在地: *ブランタイア* 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 政府関係の会計、統計等の業務を行っている。計算機は小規模で、手作業が多く、電算機化の初期段階といえる。業務が多い(種々雑多)ゆえに電算の処理能力が過負荷のみ。稼働率も50%以上。

● 設備概要: 機種: ICL-2903. 主記憶 32KW (1W=24 bit), Card-reader 1, Disc pack 2台 (各100), MT 7, 9 台各4台, Line printer 1, Console disk (CTR) 1

(2) 隊員の業務内容: Key to disk 2 set (terminal 各16台), Card puncher (2台), 他. Hand puncher (数台)

● 技術の範囲: structured Cobol を解し、会計及び統計問題の解析に及び、OS 他 Utility を使いこなすこと。programmer、operator 等への助言。

● 業務の形態: 電算機化業務の各 user への Senior System Analyst に提供され、彼らにその業務分析を、随筆の System Analyst / Programmer の具体化を Program の試行段階で使用されるデータは特別のものでなく、本番データの抜粋にものを使用するが、illegal な case を発見する業務も、完成後は user へのデータ処理、外への材料提供も検証は user に任せ、データ作成は Inforex (Key to disk) を MT 上に作り、その検証は Data Control Section によって行われ、初期段階では programmer の作業となる。

● Programmer の教育は Principal officer により、約1ヶ月程。その後先輩 programmer の補助を以て技術取得は個人の努力とす。大卒程度の学力で統計に明るい。operator、Data Control の職は高年が多い。平均年齢約28~30才。

● 使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

佐々木竹彦 隊員の交代

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 専門学校卒以上
- ② 実務経験2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9月 9日

630 写 真

調査者氏名 平沢 昭 男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語) Photography	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 写 真	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Rural Industrial Development, Dept. of Animal Production & Health
(日本語): 農村工業開発省 畜産保健局

2. 隊員勤務先名称: Veterinary Research Institute 日本語名称 (獣医学研究所)
所在地: Peradeniya, Sri Lanka 主要都市からの距離 (20kmより100キロ)

3. 事業規模及び内容: 職員数90人。うち研究員15人(定員23人)が働いている。家畜の育種・繁殖を含む獣医学全般(とりわけ畜産学全般)の方向にある。また(その他)の研究活動も行っている。Department全体としての80年度予算は3975万ルピー

4. 設備概要: 研究所の建物の中に写真用ラボがあり。暗室(白黒、現像機一式、引伸機2台等あり)、物品収納室、作業室等がある。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: 研究所の長直属の写真技師になる。
2. 技術の範囲: 顕微鏡写真、標本写真等学術用のものである。研究所の活動状況と一般に知らせるための広報用の写真、スライド等の Visual Aid の作成を指導する。暗室処理が完璧に出来ること。
3. 業務の形態: 研究所では現在研究用の写真撮影技師がいない。単に写真技術を知っている研究員がいては見ては、他の研究員の写真撮影と処理を手伝っている。隊員が赴任した際は、新しく743635のカメラ・プリント機にもこれらの業務を行ない、必要は技術を伝える。
4. カウンタート等: 現在はカウンタートと呼べる人材が居らず。上記研究員も本来の研究活動に専念する必要がある。隊員赴任後は、然る可き人園を雇い、専任のカウンタートとして43635に任せることになっている。
5. 現地で利用可能な材料: コリカメラと付属品、フィルム、顕微鏡写真撮影セット、暗室機材(白黒用)、三脚等、撮影スライド等。
6. 外国人等: 今のところいない。時に各国から研究者が来るらしいが、写真とは関係ない。
7. 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

本国としてはかなり大きい畜産研究所ではあるが、研究の成果を学会に報告したりする時の写真撮影の用がいろいろ必要でない。専属の写真師を置く目的で本要請にたつておられる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

写真関係の学科(専門学校でも可)を修了し、上記の心から学術写真の撮影と処理に精通していること。年齢35才以下。単車免許はあれば望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 10 日

631 映画

調査者氏名 新田 慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Movie Film Specialist	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 映画製作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 56 年 8 月迄に現地到着のこと

●) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources
(日本語): 農業天然資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Extension Aids Branch 日本語名称 ()
所在地: 主要都市からの距離 () より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 視覚教材による近代農業普及を目的とした農夫者の広報部門、100人強のスタッフ。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 映画製作について 現地人スタッフへの実地指導
- ・ " " のプログラミング
- ・ 設備・機材のプログラミング及び管理

・ 使用言語: 英語

※ 映画は 農業普及のための広報フィルム製作

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

隊員の勤務先となるフィルムユニットでは、映画の台本、撮影の技術は充ちている。録音面で技術不足のため、日本人専門家を要請している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 映画製作の実務経験 5 年以上

② 年齢 23 才以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年9月10日

631 映画

調査者氏名 新田 愛子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	映画制作	(どちらでも可) / 人	受入期限 55年8月迄に現地到着のこと

●) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Office of the President & Cabinet
(日本語): 大統領府

ロ. 隊員勤務先名称: Information Department 日本語名称 (情報局)
所在地: フランティヤ 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 広報映画の制作 (主に式典、行事、プロジェクト等)
一年間に10本~20本撮影、それから10本程完成。

ニ. 設備概要: 撮影・録音: プリックラス16, ST, M, BL, SR, トラ3台
編集: ステイバック3台

(2) 隊員の業務内容:

・業務上の地位: T.O. (テクニカル・オファー)
・業務内容: 撮影、編集 (現在はポジのみ、近く初め開始の予定) の指導
をするとともに、隊員自らも撮影、編集にあたる。

・カウチング: マラウイ人10人、高卒、大卒の者が業務の中心にまわ(50)、平均
30才以上。

・使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

小岸勲隊員の交代

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 専内学校卒以上
- ② 実務経験4年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 35年 9月 12日

64001 手 芸

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Handicraft	(男) 人	訓練開始 56年 7月 6日
	(日本語) 手芸	(女) 1人	派遣予定 56年 7月 10日
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月 迄に現地到着のこと

1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Local Development

(日本語): 地方開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Women's Affairs Training & Extension Center
所在地: Lalitpur (Patan) 日本語名称 (女性訓練センター) 主要都市からの距離 (カトマンズより 5キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ネパール女性が国の開発への意識を高め、技術を身につけて農村社会での生活向上に重要な役割を果たすことを目的に、1956年FAD財団の援助により設立された。1962年からは パンチャヤトシステム の知識普及のための講座も開かれ、現在では女性の為の総合的訓練機関として職業訓練も含めカネカが設けられている。

ニ. 設備概要: 教室10、図書館、倉庫、講堂、診療室
(その他): 校長1、シニアインストラクター2名、インストラクター4-5名、ジュニアインストラクター4名、事務関係12名

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位: インストラクター (指導教官)
2. 技術の範囲: 現地で入手できる素材 (布、紙、木、竹、ぬり、粘土等) を人形、装飾品等、手芸全般の
3. 業務の形態: 技術指導にあたる。当訓練センターとしては職業訓練の中での初めてのコース (手芸コース) とする。
4. 対象者: ネパール中部地域から集まった30-40人の女性 (20歳前後) で、教育は全くなく読み書きのできる者もほとんどいない。技術的には基礎的なことも知れない程度。
5. 利用する機材: 手芸コースには、簡単な工作用具が備えられている。(ハサミ、針、etc.)
6. 先住国人: 3人 (カネカ3人 (栄養改善分野のボランティア)、協力隊員 (松本文子) が1955年2月から編物コースで協力活動を続けている。
7. 使用言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当訓練センターは農村の女性に技術を身につかせ、生活水準の向上に役立たせることを主眼としている。手芸コースでは、作品を製品として、現金収入源に直結させる目的で訓練することになるので、日本人ボランティアのマイケル (創設工夫) 技術が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(手芸の経験が豊富なこと)
学歴: 家政科専攻者かよい (高卒以上)

(新規要請)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 10 月 18 日

64001 手 芸

調査者氏名 平沢昭男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語) Handicraft	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 手 芸	(女) 1 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Rural Development
(日本語): 農村開発省

ロ. 隊員勤務先名称: 日本語名称 ()

所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 国内各所に 110 所のセンターを有し、地域住民の生活改善を計っている。1000 所以上の Women's Development Center を有し、主に農村婦人に洋裁や手芸の指導を行っている。収入を得るための道を開いている。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- 業務上の地位: コンストラクター
- 技術の範囲: 刺繍、レース編み等手芸全般の技術が求められる。現地にあり材料(ヤシの一種の葉など)を利用した工芸品作成の指導を行うことに伴って応用力が求められる。
- 業務の形態: 場所は未定であるが 1000 所のセンターのうちの一箇所に配属され、コンストラクターとして婦人達に手芸を指導する。
- 対象者のコンタクト: 対象者は農村部の 10 代後半から 20 代前半の婦人。コンタクトは現在センターで指導中のコンストラクターである。その技術的背景は不明。
- 利用可能な材料: 現場での調査はしていないが、現在すでに手芸品を作っていることから基本的には揃っていると思われる。
- 協力国等: 無し。
- 使用言語: シンハラ語 (但し訓練課程は英語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

専門学校程度で、手芸全般を学び、かつ系統立てて学んでおり、2~3年の経験も持っていると思われる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 7 月 8 日

641 婦人子供服

調査者氏名 真野 忠臣

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Dressmaking	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 婦人子供服	(女) 1 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vokasional Azizah 日本語名称 (Azizah 職業訓練学校)
所在地: Johor Bharu 州 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 家政科専攻の女子職業訓練校, 修業年限2年間(高1,高2)
洋裁, 美容, 料理, 育児などのコースがある。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

中学卒業程度の女子生徒に主に婦人子供服のデザイン, 製図, 製作に
関する実習指導に協力する。同校には縫紉機5台に「2台」これと使った
機械編の4台指導も要請されている。

洋裁コースには教師が2名いる。しかし、彼等は洋裁だけでなく、料理
育児などの他のコースも担当している。

生徒数は、1クラス 25~30人程度。

教材及び工具は一通りそろっているので携行すべき機材はか
必要の場合、着任後現地調達ね。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当地の教師は、実務経験が乏しく、実務経験豊かな隊員から進んで、技術
を吸収すると共に、校風の確立の及ぼす人の教育は、華豊を学べたこと
17...

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

短大生以上 ⇒ 経験2年以上。
専攻科生以上 ⇒ 1, 3, 4年コース。
印

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 9 月 15 日

641 婦人子供服

調査者氏名 草野忠正

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Needle Work & Dressmaking	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 婦人子供服	(女) / 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vokasyenal (日本語名称: ~~職業訓練高校~~ 職業訓練高校)
所在地: Kangan. 主要都市からの距離 (Kより611 km)

ハ. 事業規模及び内容: 中学卒業生を対象とした2年課程の職業訓練高校。
冷凍機、電気工作機等男子生徒を対象とした1-2の他女子生徒を対象とした家政科2-2がある。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

家政科の教員として洋裁・手芸等の指導を行う。
ドレス・メイキングの基礎より応用の実技指導、又新しい分野として編物が注目されて来たりその指導を求めれば申し分ない。
生徒は日本の高1~2年に相当する年齢15~16才、教師は家政科教員養成大学にて家政科全教科を履修している。

使用言語 マレー語

特に機材の携行は必要ない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当地の教師は実務経験が乏しく実務経験豊かな隊員から進んで技術を吸収せよと共に校風の確立のため、日本人の勤勉な姿勢を学ぶことには

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

専ら高専卒に。実務経験2年以上。
短大

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年9月8日

650 音 楽

調査者氏名 表 孝 雄 

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタ・リカ	(現地公用語) MUSICA	(男) 人	訓練開始 56年4月
	(日本語) 音楽	(女) 人	派遣予定 56年8月
		(どちらでも可) 2人	受入期限 56年8月迄に現地到着のこと

● 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): UNIVERSIDAD DE COSTA RICA

(日本語): コスタ・リカ大学

ロ. 隊員勤務先名称: ESCUELA DE MUSICA

日本語名称 ()

所在地: サンタ・クルス

主要都市からの距離 (首都より280キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 生徒数約120名(8~18才)。ピアノ、アコーディオンの個人レッスン、マリンバ、吹奏楽、ギター、合唱のグループレッスン及び音楽理論ソルフェージュのクラス授業を行っている。

● 設備概要: 校舎は建築中、到着時点には完成予定。自下幼稚園にまがられている。ピアノ5台、マリンバ4台

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 音楽講師 PROFESOR DE MUSICA

② 技術の範囲: ピアノの演奏・指導及び音楽理論ソルフェージュの指導

③ 業務形態: 教室型

ピアノの個人レッスン(現在「トンプソン現代ピアノ教本J」使用中) 基礎的な音楽理論、ソルフェージュのグループレッスン(15人程度)。子供達の発表会に伴う模範演奏。

④ 対象者: 8~18才のサンタ・クルス付近に住む子供達

⑤ 現地にある教材: ピアノ5台 他、ソルフェージュの指導書はほとんどない。

⑥ 才三国人: 帰化したメキシコ人(アコーディオンの講師)

⑦ 使用する言葉: スペイン語

(詳細は隊員報告書参照)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: コスタ・リカの音楽教育は文部省による学校教育として

のそれより大学や国立オーケストラ付属の音楽学校によって行なわれている。

● これまでこの音楽学校は首都にしかなかったのが、地方普及の第一歩として

サンタ・クルスに設けられ注目をあびながら運営されている。

(上記音楽学校が)

既に今年二度発表会が行なわれ新聞にも大きく取り上げられた。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 音楽大学卒業

○ ピアノは模範演奏でき、理論は幼児教育の心得があること

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

佐木デニス駐在員

田上 実

記入昭和55年9月1日

660 美術

調査者氏名 佐木 順一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンデュラス	(現地公用語) Educación Arte	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 美術教育	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 2人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Educación
(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Escuela Normal España 日本語名称 (国立教員養成校)
所在地: Villa Ahumada, Danli, El Paraíso 主要都市からの距離 (首都より100キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

全校生徒数約800名。卒業後全生徒は全国の小学校の教師として働くことを目的とし教員を養成している。女子校。

ニ. 設備概要:

美術教室, 家庭科室, 図書館, 300名収容の寮。

(2) 隊員の業務内容:

卒業後すぐに実践できる小、中学校(日本)程度の美術教育をする。専門的に一分野だけを教えるのではなく広く浅い美術についての技術と知識を身につけさせる。また学校という職場なので美術の分野だけでなくスポーツ, 音楽等の課外活動も業務内容に含まれてくる。

① 隊員の業務上の地位 ~ 美術教師

② 技術の範囲 ~ 絵画, デザイン, 彫塑, 彫刻, 焼物, 木工工作等の美術全体に一般的知識と実践ができること。

③ 業務の形態 ~ 授業

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準・学歴及び年齢

対象者 ~ 16才 ~ 18才の女子

カウンターパート ~ 技術 ~ 専門的知識はないが独自の経験と実践を持っている。

学歴 ~ 日本の高校卒。その他数回の講習会(コスタリカ派遣)

年齢 ~ 36才

⑤ 特におし ⑥ 不定期に来校するアメリカンビースター

⑦ スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

交代隊員なので初代が行った仕事をさらに定着させることと、さらに新しい美術教育の技術(技法)を教えてもらえることを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

教職経験があることが好ましい。また住居が学校内にあるので精神的に安定してないと女子校の中ということで開放感が少ないので特に留意してほしい。

① 大卒 ② 教員免許 ③ 2~3年程度

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 7 月 25 日

670 団 学

調査者氏名 **新保昭治**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Machine Tools (Machine drawing)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	工作機械(機械製図)		

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): **Technological University of the Philippines**

(日本語): **フィリピン工芸大学**

ロ. 隊員勤務先名称: **同上** 日本語名称 (**同上**)

所在地: **Ayala Blvd., Manila, Metro Manila** 主要都市からの距離 (**—**より**—**キロ)

ハ. 事業規模及び内容: **TUPは、1901年に設立された Philippine College of Arts and Trades(PCAT)**

が、1978年9月に UNIVERSITY に昇格したものである。歴史的にみれば、フィリピンにおける Arts and Trades 系の総本山的の学校であり、地元の Arts and Trades 系学校および NMYC に大量の教官を

ニ. 設備概要: **送り出している。JICAを通じ約60名の教官が日本に短期技術研修に行っている。**

学校組織、コースについては別添参照。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: **テクニカルアドバイザー および インストラクター。**

②③ 業務の範囲、業務の系体: **現在行われている製図部門の授業内容は教師の作成した手本を写図させているにすぎず、それも毎年同一のものを使用している。また製図も美術的の傾向が強く、強度計算、公差等の設計的な概念はほとんど導入されていない。図面の読みかき、簡単な機械のスケッチおよびある程度の設計が出来る素地を養うことが業務の目的となる。隊員はインストラクターと協力して製図コースのカリキュラム編成(注)、製図器具、スケッチに必要な計測器の使用法を指導し、同コースの設備の充実、必要に応じてインストラクター、生徒に対し技術指導を行う。(現在フィリピンは JIS の様な製図規格がなく、欧米、日本の通則を混用している。なお1983年から Metric System を採用する)**

④ 対象者およびカウパト: **生徒の年齢は17才~20才。カウパトは35才~40才(固定収入はいいが、インストラクター~アシスタントレベル)。指導方法は心得ているが技術水準はあまり高くない。**

⑤ 現地で利用できる機材: **日本の優等によるドクター(武藤工業KK, SAK-17)40台、B0サイズまでの図面青焼き機(但し、自動式ではない)1台は現在稼働している。その他、丁定規約40枚。**

⑥ 現場における3国人および日本専門家: **いない。**

⑦ 使用する言語: **英語**

注) 製図部門では機械製図のほか、建築、土木製図も担当している。インストラクターはその専門にそれぞれ担当に分けられている。機械以外の製図法を心得ておればその分野にも関与する可能性がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

製図部門の教育環境、設備の充実 および 新体系 (SIシステム) による製図技術の移転が望まれている。更にカリキュラム編成を通じ、生徒の設計的素地を養う役割の果たすことが期待される。

(佐藤康二 隊員 54/2 の交替要請)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学工学部 または 工業系短大卒 (いずれも機械系専攻が望ましい) で実務経験 (設計業務等 図面作成に係る経験) 2年以上が望ましい。取得資格は機械 または 建築製図技能検定 合格者が望ましいが、上記経験により同等以上の実力を有する者。

赴任時年齢は 25~30歳で指導経験と有する者が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

680 日 本 語

記入昭和55年 9月 8日

調査者氏名 表 孝雄 (印)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) Profesor de japonés	(男) 人	訓練開始 56年 6月
	(日本語) 日本語教師	(女) 人	派遣予定 56年 10月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 56年12月迄に現地到着のこと*

1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): La Universidad de Costa Rica
(日本語): コスタリカ大学

ロ. 隊員勤務先名称: Escuela de Lenguas Modernas (日本語名称: 現代言語科)
所在地: Ciudad Universitaria, San Jose (主要都市からの距離: 市セより 2キロ)

ハ. 事業規模及び内容: コスタリカ大学生に対する日本語教育。選択必修で日本の大学の外国語教育の1/2外国語に相当する。現在程度にたいして4クラスあり。授業時間は各3時間である。うち3グループ、9時間は夜間の授業、1グループ3時間は朝の授業。月曜から木曜まで。12月来学期以降は未定。

ニ. 設備概要: 文学部専用の建物がなく、法学部、一級講義用建物で行なっているが支障はない。夜間たまたま停電することがある。視聴覚機材の使用は困難。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 非常勤講師扱い
- ② 初心者に対する日本語教育。スペイン語による文法説明。
- ③ 週4日、12時間。うち9時間は夜間。4グループ各3時間。
- ④ 大学生対象。能力は多様。高卒で約20才以上の男女。
- ⑤ 英文・和文タイプ、コピー。
- ⑥ なし
- ⑦ スペイン語

現在使用中のテキストは大阪外大の留学生用の intensive course である。スペイン語で書かれたテキストは技術研修者用のが他に一冊ある程度である。「定期券」とか「研修」といった特殊なコンテキストの中でしか使われないことが目立つので、現地に即したテキストが必要である。また、文法説明と不備な点があり、練習問題も十分ではない。単語帳は英語版のみで、スペイン語版の作製も必要である。したがって授業さえすればよいというわけにはいかない。現在文法の補足説明と問題集を作っている。将来はテキスト作りをする予定である。学生はピンからキリまでいて、優秀な学生は文法・日本の社会・習慣について鋭い質問をする。他方、劣等生は私語をしたり、つれない質問をするので、威厳をとりたしむることも必要である。

(詳細は隊員報告書参照)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本語のみならず、言語学・社会学・民俗学・歴史学等、人文科学一般に精通した、真に大学の講師の名に値する者が望まれている。現代言語科は拡充の途上であり、将来、日本語・日本文学科に発展することが望まれている。現在は裾野の開拓中である。学生にとって実用の機会は少ないものの、文化交流・相互理解のために日本語教育の発展が望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本語教育専門の修士が望ましいが、学士でも可。(2~3年の日本語教育の経験)が必要。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表 **新保昭治**

681 理数科教師

記入昭和 55年 1月 19日

調査者氏名 **小野 康直**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Science Education	(男) 人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) 理数科教師(化学)	(女) 人 (どちらでも可) 1人	派遣予定 56年 2月 受入期限56年2月迄に現地到着のこと

1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Technological University of the Philippines*
(日本語): **フィリピン工科大学**

ロ. 隊員勤務先名称: *College high school* 日本語名称 (フィリピン工科大学中等部)
所在地: *Manila* 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: T.U.P.はフィリピン中の *School of arts and trades (vocational school)* の中心校で多くの卒業生を教師として送り出している。中等部は1年から4年まで各学年2ないし3クラスである。1クラスの生徒数は30名より50名である。

ニ. 設備概要: 校長室 職員室のほか7つの一般教室があり 実験器具も初歩の中学の実験はほとんどこなせる程度である。

(2) 隊員の業務内容: 生徒の年齢は13才~16才で男女の比は約男:女=5:1である。化学は3年,4年にわたり履修し,各学年共1週4時間である。化学の教師は1名であるが,化学は現在3クラスしかなく教師不足ではない。しかし実験器具を洗浄したり,管理することはやれたが足りない。又現在使用中の教科書(U.P.S.E.C)についても,まだまだ問題点があり,この二点で今後協力を続ける必要がある。

① 隊員の業務上の地位

インストラクター

② 技術の範囲 シラバスの改善 教材の手直し, 実験装置の充実

③ 業務の形態, 授業とはからかりキュラムの改良及び実験の紹介等を行なう。

④ カウンターパート 1名 U.P.卒3年の教員経験 女性 二十数歳

⑤ 現地で利用できる機材 日本の中学程度の器具 薬品等

⑥ 第3国人 いない

⑦ 使用する言語 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

数学理科の充実が期待されている

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

指導経験のある人を望む

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 1月 27日

681 理数科教師

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール国	(現地公用語) Mathematics, Science Teachers	(男) 一人	訓練開始 55年 4 or 6月
	(日本語) 理数科教師	(女) 一人 (どちらでも可) 3人	派遣予定 55年 8 or 10月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

1) 配属先

(数3, 理2)

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education → Regional Directorate of Education → District Education Office
(日本語): 文部省(教育) → 地方教育委員会 → 郡教育事務所

ロ. 隊員勤務先名称: Secondary school 日本語名称 (高等学校)
所在地: テラ地方を除く山間部(予定) 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1971年からの新学校教育制度では、10年教育を基本とし、全課程修了後 S.L.C. (School Leave Certificate) 試験に合格した者が専門学校、大学へ進学する資格者となる。Secondary school は、そのうち 8-10 学年の生徒を対象とし、全国に 593 校、教員数 3947 人、生徒数 93651 人となっている。(1978年の統計) 文部省で理想と

ニ. 設備概要: いる一教室の生徒数は、secondary school で 25 人、1 校当りの教員数は平均 6-7 人。毎 secondary school は大別して普通科高校、職業高校、サマグリット高校となり、普通科高校で 9 科目。学期は 2 月半ばより開始される。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 高等学校教師 (数学、理)
- ② 技術の範囲: 数学教師は、数学全般の授業 (教科書は 8-10 学年用のもの)
理科教師は、理科全般 (物理、化学生物) の授業 (教科書は 8-10 学年用のもの)
- ③ 業務の形態: 教室での授業が中心となる。1 週間のうち、金曜日は半日、土曜日は休みで、45-50 分の授業が 6 時間。全科目のカリキュラム中、延べ時間にして全体の 12% に当る。(数学、理科それぞれ 12%。従って理数科で全カリキュラムの 1/4 を占める) 課外活動も割り当てられる。
- ④ 対象者: ネパール人の同僚教師は居るか専門科目が必要なので直接のカウンターパートは期待できない。生徒は年齢 14-16 歳が正規だが、20 歳前後の者も居る。全国的にみると、secondary school での女子生徒は全体の 16% を占めるにすぎない。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 簡単な物はあるが教材用の模型、チャート、標本類はない。
- ⑥ 第 3 国人: 全国の secondary school 中、アメリカ平和部隊が 70 人、英国人ボランティア 10 数名 (英、数、理)
- ⑦ 使用する言語: ネパール語、一部英語 (専門用語)
訓練語学はネパール語

(当国の教育制度は、前述のとおり 10 年制で Primary (小)、Low secondary (中)、secondary (高) となっている。就学対象児童の 35% 小学校レベルで 65%、中高レベルで 20% が通学)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: しているといわれる。いすれも義務教育ではあるが、小学校では教科書無料、授業料無料となっていて、中高レベルで特に山間部の女子生徒に対しては教科書を無料配布して、女子の就学率を高める方策としている。現実に、子供を欠かさない労働力として、若女子には教育は不要であるという親の考え(風潮)が根深く残っている。ネパール人理数科教師の絶対数が少ないことから外国人ボランティア要請の背景にあるが、一才文化交流、課外活動への参加も期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○(大学卒) 教職経験 2 年
↑
理数科系

(新規要請)

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 2 日

681 理数科教師

調査者氏名 豊嶋 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) MATHEMATICS & SCIENCE TEACHER	(男) 5人	訓練開始 56年 4月
	(日本語) 理数科教師	(女) 2人	派遣予定 56年 7, 8月
		(どちらでも可) 人	受入期限 <u>56</u> 年 8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF HIGHER EDUCATION

(日本語): 高等教育省

ロ. 隊員勤務先名称: 地方の中・高等学校 日本語名称 ()

所在地: 一般と僻地とを知らぬ。主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 生徒数 100 ~ 200 名の中学校又は高等学校で共に日本の中学1年から高校1~2年程度の教育を行っている。

ニ. 設備概要: 日本では知らぬ設備類であると思つて間違ひない。

(2) 隊員の業務内容:

ケニアで協力隊の理数科教師隊員が求められているのは ハランベ-スクールと一般と呼ばれる部族の有志が設立した中学校(高校)である。ハランベ-スクールのほかに国立、私立、ミッション系の中学校(高校)がある。

1. 業務上の地位はハランベ-中学校又は高校の理数科教師である。
2. 技術の範囲は中学から高校1~2年程度の数学、物理、化学、生物のうち何れか最低2教科の指導ができること、その他課外活動、クラブ活動の指導も求められる場合が多いので何かスポーツか音楽等にかが望ましい。
3. 対象の生徒は年令的に日本の中・高校の生徒のように一定せず、教師も年令の若い生徒も珍しくない。
4. 現地で利用できる教材は学校によって格差があるが日本の常識で考えればほとんど問題ないと思つてほしい。
5. 他の先進国のボランティア教師と同じ学校に勤務する機会もありうる。
6. 授業の原則として英語で行われる。
7. 計7名の要員のうち2名は交替要員、他の5名は新規の学校に配属される予定。交替要員の前任者は54年1次隊の阿部久美子隊員、同2次隊の中山緑隊員、共に女性である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニアでは政府はもとより貧しい国民も子どもの教育には極めて熱心であるが、国全体に理数科教師が不足しており、これをケニア人教師が育つまで海外のボランティア教師に補ってもらつてほしいというのが実情。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(英語で理数科の授業ができること) (最低大学卒) 年令、経験は向う任り。
 身体健康で、精神的にもいかりしていること。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

681 理数科教師

記入昭和 55 年 9 月 18 日

調査者氏名 橋田 氏司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	理数科教師	(どちらでも可) 9人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION

(日本語): 教育省

ロ. 隊員勤務先名称: (5) 1= 記入 日本語名称 ()

所在地: 主要都市からの距離 () より キロ

ハ. 事業規模及び内容: 生徒数 200~400名。マラウイ各地に点在する国立高校。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 高校生に数学、物理、化学を教える。化学実験も行う。

イ. 隊員個々の特技を生かして、課外授業も行うことがある。例: サッカー、バスケット、バレー、絵画。

隊員の技術範囲 (授業の内容)	日本の中学校程度
業務形態	36~39時間/週
現地で利用可能な教材	教科書、実験道具等豊富にあると聞いてはいる。
公用語	英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大学 理数科卒業。 ② 教職試験の合格が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年8月27日

681 理数科教師

調査者氏名 奈良輪 睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 56年4月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 56年8月
	理数科教師	(どちらでも可) 人	受入期限 56年8月迄に現地到着のこと

1) 配属先

Ministry of Home Affairs

イ. 配属先名称 (現地公用語):

Zambia Police Station

(日本語):

内務省 警察庁 無線通信部

ロ. 隊員勤務先名称:

T. T. C.

日本語名称 (技術養成センター)

所在地:

リライ

主要都市からの距離 (リライより20キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

無線通信技術者を訓練、養成する T.T.C から 1978年 JOC T の隊員の輩出を目的として

ニ. 設備概要:

T.T.C には、2教室と実験室があり、実習材料は基礎及び応用実習材料等

(2) 隊員の業務内容:

無線通信技術者の訓練、養成に努めること。

T.T.C において、教習として無線工学一般を支援隊員と共に講義、教授及び実習を有する。

1年次の... 数学の授業を担当すると共に、所定果的指導を行うためのカリキュラム、授業指導方法の総括、研究等について行なう。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ザンビア警察、通信部においては、無線通信機器の修理、保守のできる技術者が不足しており、技術者の養成が急務となっている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(1) 大学以上 (2) 少なくとも無線の経験者 (3) 単車運転が出来ること

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

物理 (2) 化学 (4)
数学 (4)

記入昭和 52 年 11 月 1 日

調査者氏名 平川 深

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
G - 1	(現地公用語) SECONDARY SCHOOL TEACHERS	(男) 10 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 高校教師	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION & CULTURE, GHANA EDUCATION SERVICE
(日本語): 教育文化省, G-1 教育司

ロ. 隊員勤務先名称: GHANA 121 SECONDARY SCHOOL 日本語名称 ()
所在地: 全ロに約 200ヶ所にあり。 主要都市からの距離 () キロ

ハ. 事業規模及び内容: FORM 1~6 (UPPER & LOWER) 年令 13才~19才位まで生徒で
多くの学校は全寮制で、男女別々の学校となっている。

ニ. 設備概要:

教室・実験室等は、日本の高校水準の設備はあるが、教材は不足している。

(2) 隊員の業務内容:

- (1) FORM 1~6 の各教科の授業を行う。
- (2) FORM 1, 2 は物理、化学、生物等が一緒に行った GENERAL SCIENCE (日本では理科) と称する場合もある。
- (3) 各教科の授業は (2)以上) 日本中学・高校程度だが、FORM 6 は大学一般程度授業。
- (4) 週 20~26 時限 (40分授業) を教える。
- (5) 1クラスの生徒数は約 40名。
- (6) 使用語は英語。
- (7) 多くの学校は米・英・カナダのボランティアの英・米・カナダ人の2以上の外資の外資教師、2~3名程度いる。
- (8) 各教科の授業と併せて、寮管理、課外活動、73才担任等の業務がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

G-1のセカンダリースクールは全アフリカ諸国の中では、かなり高水準にあり、最高水準にあり、G-1国民も教育に好意があり、熱意があり、生徒も非常に意欲的に学んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学 (4年) 以上の学歴。英語で授業を行うことが可能な者。

高校教員免許 教員経験 (望ましい) の者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

技術科教師

記入昭和 54 年 3 月 15 日

調査者氏名 山口 廣治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (サラワク州)	(現地公用語) Industrial Arts Teachers	(男) 2 人	訓練開始 54 年 月
	(日本語) 工業学科教師	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

I) 配属先

- 1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Education Sarawak
(日本語): サラワク文部省
- ロ. 隊員勤務先名称 Green Road Government Lower Secondary School (日本語名称: グリーンロード中等学校)
所在地: Green Road Kuchin Sarawak Malaysia (主要都市からの距離: Kuchin 5キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 生徒数 2,350人 (14才~16才), 先生 84人. 1732 25人~30人
3年間の中等教育

ニ. 設備概要: 別添 写真参照 一応基本的な機材及び設備はある。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 工業学科教師
- ② 技術の範囲: 電気学, 金属学, 機械工学, 木工学 及び 製図
- ③ 業務の形態: 学等について 基礎的な理論及び実技を教育する。(別添写真参照の事)
- ④ 対象者: 14才~16才程度の中等学校の生徒 (From I, II and III) (教材の資料として)
- ⑤ 現地機材: 基本的な機材はあるか。着任後 カタログを持参した方がいい。(別添写真参照の事)
- ⑥ 外国人: カタのホムステイプ 1人か。社会学を教えている。
- ⑦ 使用語: 英語 (生徒はマレー語及び英語を理解するが種々の状況を考えた場合英語の方が良いと判断した)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 中等学校の生徒 (14才~16才) に 電気, 金属, 機械, 木工, 製図等の基礎理論及び実技について 全般的な事を教える。生徒に対する能力の開發を指導してもよい。工業に対する知識及び技術の啓蒙及び向上を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ↓ 日本においてもこの分野を教育する事の出来る人を見つける事は困難である事は理解しているが、いかに工業学科について 訓練及び教育を受け応用がある人物か。中等教育について 興味及び情熱をもちたい。
- ② 英語又はマレー語で教育出来る能力のある人物

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

701 体 育

記入昭和 52 年 7 月 18 日

調査者氏名 木内志郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Physical Education	(男) / 人	訓練開始 S. 52 年 10 月
	or (Sport Organizer)	(女) 人	派遣予定 S. 53 年 2 or 4 月
	(日本語) 体育指導(教官) は(スポーツオルガナイザー)	(どちらでも可) 人	受入期限 3 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Education, Technical Division,

1. 配属先名称 (現地公用語): Physical Education Section.

(日本語): 文部省指導技術部体育指導課

ロ. 隊員勤務先名称: Regional Education Directorate. 日本語名称 (地方教育事務所)

所在地 Dharan, Pokhara, Nepalgunj, Kathmandu 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 各地区の小・中・高校の体育担当教師及び生徒に対し陸上競技、バレーボール、サッカーなどの競技場造りからルール(競技規則)、競技のやり方などを巡回指導する。他にも音楽、ダンスなども指導する。

ニ. 設備概要: 特になし。(文部省からボール、ネットなど支給されることもあるが絶対数は常に不足するとのことである。)

(2) 隊員の業務内容: 地方教育事務所計画に従い、各地区の小・中・高校の体育担当教師及び学生に対し、陸上競技、バレーボール、サッカーなどの競技場造りから、競技規則、競技のやり方などについてネパール人同僚と共に各地区毎に巡回指導する。(体育全般にわたる政府の指導教官となる。)

① 隊員の業務上の地位: 隊員の技術の程度により相違の対応も異なるが、一応 GAZETTED III CLASS OFFICER (OFFICER LEVEL INSTRUCTOR OF PHYSICAL EDUCATION) となる。

② 技術の範囲: 陸上競技については、走り高跳び、幅跳び、三段跳び、やり投、ほうがん投、100、200、400、800、1500m 競走、100、400m リレー、その他、バレーボール、サッカー、バドミントン、卓球、バスケットなどを指導することになるが、そのほとんど全部について基礎的な知識技能を有している。バレーボール、サッカーについては精通していることが望ましい。

③ 業務の形態: 上記各種目の理論及び実技の両面をネパール人体育指導官と共に平野、山岳地帯を問わず、各地区毎に巡回指導することになる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: そのほとんどは文科系大学又は SLIC 修了(高校)後、文部省スポーツカウンセラーの短期研修による種目別(サッカー、バレーボール他)の修了証を持っている。中にはインド留学した人も居るが技術水準は身に比し低いと云える。年齢は 20~30 歳。

⑤ 現地で利用出来る機材: 少数のものを除き、ほとんど持っているが、受入側では云うが、ほとんどないところが多い。

⑥ 本国人の配属はないが、柳田、羽根、伊藤の各バレーボールコーチの 4 名をほとんどが知っている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ② 使用する言語: ネパール語、専門用語は英語。

1975 年より開始された新教育 5 年計画の中で、体育は必須科目として採用される。体育学を専門に学んだ小・中・高校の教師は皆無に等しく、国民の体位向上を計るため(あるいは娯楽設備の乏しいネパールでは)体育担当教師の養成は急務である。よって、一人でも多くの体育担当教師の養成を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 体育学部卒業生で、バレーボール及びサッカーを得意とする者。
実務経験としては、中学又は高校にて保健体育の指導した経験があれば申し分ない。
但し、教師に対するネパール国の体育技術指導官となる人物であるから指導者としてふさわしい。応用力、実行力に富む人が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 3月 31日

ザンビア

701 体 育

調査者氏名 奈良輪陸美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Sports Organizer	(男) / 人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) スポーツオルガナイザー(体育一般)	(女) 人	派遣予定 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年 2月迄に現地到着のこと

1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Youth and Sports, National Sports Council of Zambia
(日本語): 青年スポーツ省 ザンビア国立スポーツ審議会

ロ. 隊員勤務先名称: University of Zambia 日本語名称 (ザンビア大学)
所在地: P.O. Box 2377, Lusaka 主要都市からの距離 (ルサカより 5キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ザンビア大学は1966年に設立され、Great East Campus, Ndola Campus, Ridgeway Campus (医学部) の3campusから成っており、学生数はそれぞれ3000名、500名、300名、計4000名弱である。学部は社会科学部、自然科学部、教育学部、法学部、工学部、鉱山学部、農業科学部、医学部、8学部がある。国立大学である為授業料無料、手当が毎月支給されている。

ニ. 設備概要: 1964年の独立以後大学教育の中には正規の科目として体育教育は組入れられていない。従って77が活動して1775-3の要素が強い。体育館にはバスケットボール、バレーボール、バドミントン、ボウリング、柔道、剣道、空手、テニスコート(4面)、サッカー(3面)、バレーボール(4面)、ネットボール(2面)がある。

(2) 隊員の業務内容: 国立スポーツ審議会に属し、ザンビア大学及び青年スポーツ省体育局でスポーツ全般運営と組織化に当る。同時に学生及び体育職員とのスポーツ訓練計画の作成、体育学の向上と研究、学内試合、スポーツ祭の企画立案及び実施、スポーツ教官に対する手法指導と育成にあたり、各種アマチュアスポーツ協会に対する助言・指導等も業務の一環となる。

現在スポーツコーチ1名、米国留学中が1名(6月に帰国予定)、ロシア人バレーボールコーチ1名(Ndola Campus)で、以下の77がを担当している。フットボール(2チーム)、バスケットボール(2チーム)、バレーボール(3チーム)、ホッケー(2チーム)、ラグビー(2チーム)、卓球、ローンテニス、ネットボール、合気道、空手、ボウリング、重量挙げ、陸上競技、バドミントン、ボート(各1チーム)

1980年度の当大学に対するスポーツ関係の予算総額は40,000 Kwacha (施設維持費及び体育用品類購入代金)で、大学スポーツ協議会を中心に各学生スポーツクラブに補助金を出している。スポーツ用品等は当国の外貨不足により輸入制限がある。

設備については予算がないこともあって、近代的なものだけでなく、古く、修理されないまま放置されている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 独立以降はスポーツ振興に対する熱意が低下し、学校教育全般に科目として体育を組入れることが出来ず、独立15年を経たにもかかわらずスポーツの重要性にたいしての要請となった。スポーツ全体の組織化及び運営に適切な指導、助言と与えることが期待されている。1970年にカナダ人が指導して以来、本分野での外国人指導者はない。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
体育学修士課程修了。コーチ及びはorganizerとして経験年数5年以上の専門家に於てあること。英語堪能であること。体育に対しては初期の段階であり、各スポーツ機関との調整、交渉能力が要求される。地道な活動にも耐えられ、謙虚な精神の持主で積極的かつ忍耐的であること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 2 日

701 体 育

調査者氏名 岩波和俊

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語) Educación Física	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 体 育	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年3月迄に現地到着のこと

1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Oficina de Asuntos Internacionales del Ministerio de Educación
(日本語): 文部省国際局

ロ. 隊員勤務先名称: CEGECOOP "LA UNION" 日本語名称 (ラウオン総合学校)
所在地: Av. La Mar cuadra 19, Pueblo Libre, Lima 主要都市からの距離 (15 〇キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本学園は、1971年に政府公認学校法人として発足。生徒数は小学校906名、中学校(柳の高校2年まで含む)650名を数え、職員数96名。運営母体は、1,326名の会員をもつ教育事業協同組合(CEGECOOP)。生徒の男女比率はほぼ半々、全体の95%強が日系第、日人運営校としては当国最大。

ニ. 設備概要: 敷地面積 12,000㎡。事務局棟の他 42教室、4工作室、2実験室、図書館は建設中。体育施設としては同一敷地内(100,000㎡)のテナオ=総合運動場を優先使用(ホッケー場、野球グラウンド、テニスコート、プール等)。

(2) 隊員の業務内容:

本学園における体育教師は、常勤3名、パートタイム3名で、全校生に対し週2時間の体育授業を実施している。また同じ教師が小学校、中学校の両方を受け持っている。

1. 国技と言えどサッカーや、野球、バスケット等の球技に比し、基礎体力養成のための陸上、器械体操等が遅れており、全体的なバランスに欠けている。従って隊員は、体育授業のあり方の総見直し、カリキュラムの整備、再編成、指導要領の確立等による「質的・構造的レベル・アップ」を業務の第一義とし、その身分・地位は教師陣へのアドバイザーということになる。

2. 体育教師は、当国は体育学専攻の分野が未発達のため教師としての専門性に欠け、各々得意とする種目の指導に重点が置かれがちであるので、高度のバランスのとれたかつ各年代毎に体系的に組まれた指導要領の現場での徹底につき、カウンターパートに指導、助言する必要がある。

3. 既存機材としては、ボール、投げ用槍、ほうれ、平均台、平行棒、鉄棒、飛込箱、マット、プール、柔道用たたみ等であるが、体育館はない。(雨が降らぬので)

4. 専ら日本人、日米専門家の配置なし。

5. 使用言語はスペイン語。

6. 他校の体育教師への指導・助言も段階に応じて必要となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本学園の教育方針は、「良いペルー人になること、日本文化に誇りをもつこと。」で、進んで我が国の体育教育をとり入れて、健全なる身体をもつ青少年の育成を図り、ひいては政府よりパイロット・モデル校としての指定を受けて、他校への成果波及にも努めることを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大学卒(体育学専攻) ないし同等の有資格者
2. 中学校における指導経験3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年4月2日

701 体 育

調査者氏名 若波和俊

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語) Educación Física	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 体 育	(女) / 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 36年3月迄に現地到着のこと

(配属先)

1. 配属先名称 (現地公用語): Oficina Regional del Instituto Nacional de Recreación, Educación Física y Deportes (INRED) en Arequipa
(日本語): ペルー国体育庁アレキパ支部

2. 隊員勤務先名称: Colegio "Nuestra Señora de La Merced" 日本語名称 ("慈悲深き聖母" 学園)
所在地: Calle Misti 208, Yanahuara, Arequipa, Peru 主要都市からの距離 (~~10~~ 0 キロ)

3. 事業規模及び内容: 本学園は当国第2の都市アレキパに位置し、学生数は小学校722名、中学校300名 (うち10%が男子) を数え、その創立は1951年に遡る由緒ある私立校で、卒業生合計968名 (1962年以降)。その厳格かつ規律ある指導内容・実績への高い評価とあわせて、同市の名門校の中にも最右翼と目されている。

4. 設備概要: 本学園の敷地は8,500㎡、建物面積7,157㎡。26教室の他図書館、知入ル、実験室、工房 etc. を有す。教員数40名。体育教育面ではバスケットコート1面、バレーボールコート2面、プール(9m x 20m)、フットボールコート1面。

(2) 隊員の業務内容:

本学園の教員勤務時間は、月曜から金曜まで朝8時から午後2:00 (昼食約1時間の昼休みを含む) で、全学生は18クラスにわかれ、体育の授業は各クラス週2時間。即ち全体で週36時間となり、これを男女各1名の体育教師が分担している。

隊員の業務内容の主なものは次のとおりとなる。

1. 当国教育改革法 (Reforma Educativa) を踏まえつつ、現状の体育授業のあり方の見直し、改善。カリキュラムの整備。指導要領の充実。
2. カウンターパート2名の現場における指導・助言。並びに特に進度の著しい優秀な生徒を少数グループに編成し、これに対する個別指導。
3. 授業時間外におけるカウンターパートへの直接指導。(特に彼等が不得意とする器械体操の強化指導等)
4. 他校の体育教師を集めてのセミナー等による指導・助言 (必要に応じて巡回指導も考える)。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本学園は、運営資金の100%を生徒よりの授業料・入学金、その他寄付でまわっている独立採算校で、校風は質素。教育レベルは指導陣の熱意により他の公立校をしのいでいるが、資金力も乏しく、設備も不十分で、近代的指導法、カリキュラムに基づく先進国並みの教育レベルには全く程遠い現状にある。特に体育は伝統的理解不足もあり最も遅れた分野で、秘側としては、当地としては教育環境の整った本学園と直接的な協力対象機関とし、一方成果の他校への波及による。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ① 大学卒業 (体育専攻) 後 数年の中学校での指導経験を有すること

- ① 大学卒業 (体育専攻) 後 数年の中学校での指導経験を有すること
- ② 西語を理解すること
- ③ 器械体操を得意種目としていること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

710 陸上競技

記入昭和 57年 4月 20日

調査者氏名 しんが泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 <u>57年 8月 10日</u>
	Athletics Coach (Track)	(女) 人	派遣予定 <u>55年 2月 4日</u>
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
陸上競技			

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語):	<u>National Sports Council</u>		
(日本語):	<u>国家スポーツ評議会</u>		
ロ. 隊員勤務先名称:	<u>National Sports Council</u>	日本語名称 (<u>国家スポーツ評議会</u>)	
所在地:	<u>Katmandu</u>	主要都市からの距離 (<u>より市内</u> キロ)	
ハ. 事業規模及び内容:	文部省に属し、陸上競技、バレーボール、サッカー、バドミントン、卓球、ホッケー、器械体操、クレーン等の種目について、国内での振興をはかる。現在の1手数はバドミントン5(35中国人)、卓球3、陸上2、サッカー3、バレーボール2(35JOCV1)		
ニ. 設備概要:	評議会としての設備は体育館(バドミントンコート3面)卓球場(6台分)器械体操場(14x16m)スタジアム(400mトラック、フィールド、サッカー場)、プール(50m)バレーボールコート(2面)等あり。		

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位: 陸上競技コーチ
2. 技術の範囲: 中距離走 (400m, 800m, 1500m, 3000m障害, 1600mリレー(400m x 4人)) が中心となり、その他、陸上競技全般の基礎技術が必要。
3. 業務の形態: 本拠地はカトマンズでスタジアムでの指導となるが、スポーツ評議会の計画に従ってネパール各地を巡回指導する形態を予想される。
4. 対象者: 一般社会人、学生
5. 利用できる機材:
6. 外国人コーチ: バドミントンコーチとして中国人が1名いる。
7. 使用言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

体育学部(大卒) 陸上競技(重として中距離)選手の経験者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年5月20日

20体操競技

調査者氏名 真野忠延

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Gymnastics	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 岩槻体操	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Jabatan pelajaran Negeri Perak
(日本語): ペラ州教育局 (体育・スポーツ教育課)

ロ. 隊員勤務先名称: King Edward III Secondary School 日本語名称 (キング・エドワードIII中学校)
所在地: Taiping Perak 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 日本では「中等1年生から高校3年生までの教育と普通課程の中等学校で現在1005人の生徒、75人の先生がいる。体育の1割には2名の先生が担当している。

ニ. 設備概要: 体操器具は鉄棒1、アヒ1、平行棒1、マット5~7枚のみ。車中の体操器具を購入する予定。

(2) 隊員の業務内容:

① King Edward 中学校の体育教師として配属されることは経緯に岩槻体操の指導とすべしと共にペラ州マラヤ体操協議会のメンバーに對しても体操の指導にあたる。

② 同校には MR. Liew という中国人の体育教師が居る。同氏が協賛と共に体操指導にあたる。
又、同氏はペラ州マラヤ体操協議会の会長であり、ASEAN 9-9 にあたる体操競技の審判の資格をもっている。

③ 使用言語⇒英語 → 学校の授業は、マレー語で行われているが、体操に因りて技術用語が英語が大部分である。また、マレー語で体操をしようとする者が少ない。また、隊員には英語で説明してもらう。MR. Liew が通訳する。

④ 携行すべき器材等なし。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同中学校は、体育・スポーツの盛んな学校で、柔道、3人バレー、体操に於いてマレーシア国内の学校チャンピオンを保持している。しかし、1人の体育教師だけで、これ以上のレベルアップが望めない。このため、隊員の協力を得て、技術の向上と指導方法の取得をはかりたいとしている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 体育教師免許
- 体操競技の審判及び競技の指導経験者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和55年4月2日

720 体操競技

調査者氏名 若波和俊

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語) Gimnasia	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 器械体操	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年3月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO NACIONAL DE RECREACION, EDUCACION FISICA Y DEPORTES (INRED)

(日本語): 文部省体育庁

2. 隊員勤務先名称: Federación Peruana de Gimnasia 日本語名称 (ペルー器械体操連盟)

所在地: Estadio Nacional Pto. 24-A, 2nd Piso, Lima 主要都市からの距離 (約 0 キロ)

3. 事業規模及び内容: 本連盟は1947年4月に発足した歴史の古い団体で、全国レベルで2,500名、そのうちの一流選手として160名を数え、体育庁の補助金を受けるとともに、会長の任命を初めその行政監督下に置かれている。

4. 設備概要: 国立競技場内に連盟独自の練習場兼大会会場を有し、機材は昨年度の日本よりの文化無償による供与を受け完備している。

(2) 隊員の業務内容:

本連盟は過去4年にわたって国際交流基金の派遣に門脇隆二の指導を受けた経験を有し、同氏の尽力もあり、近年漸く国際大会にナショナルチームを送るところまでそのレベルの向上をみている。然しながら良き指導者の下での一層の強化充実の必要性は痛感されるところで、この意味からも隊員の活躍が是非とも望まれる分野である。

1. 隊員は、体育庁所属 連盟付技術顧問兼コーチという地位が与えられる。
2. 主たる業務内容は、ペルー人指導者層の育成・指導と、ナショナルチームの指導ということ。当面は門脇氏の後任的存在になると考えられる。
3. カウンセラーパートとしては、体育学専攻の7名のペルー人コーチが予定されており、彼等はキーンバおよびリ連において修士課程を修めている。
4. 現地で利用可能な機材は、既述のとおり。
5. 3名国人及び日米専門家の配置なし。
6. 使用言語はスペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

門脇氏の指導の下に、将来を期待される有望選手が育ってきており、伝統ある日本の器械体操技術を生かして、国際的な人材を生み出し、もって国民の理解の向上と、愛好者の増加を図って、本スポーツの健全な発展と、青年の身体強化を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 本邦における代表的チームの指導経験 3年以上を有すること
2. 大学卒以上の学歴 (体育学専攻) を有すること

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

751 バレーボール

記入昭和 54年 9月 15日

調査者氏名 柳井 遼

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
チュニジア	(現地公用語) Volley-ball	(男) 4人	訓練開始 55年 4月
	(日本語) バレーボール	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 55年 8月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministère de Jeunesse et des Sports
(日本語): 青年スポーツ省
- ロ. 隊員勤務先名称: Fédération Tunisienne de Volley-ball 日本語名称 (チュニジアバレーボール協会)
所在地: テュニス 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 青年スポーツ省の指導監督の下にチュニジア国内におけるバレーボール選手の育成・強化を目的とした事業全般を行ない、対外関係についてもその権限をすべて掌握している。
- ニ. 設備概要: ナショナル4-4と地元のローカル4-4とでは内容に大きな差があるが、バレーコートはどのようにも確保され(屋外が多い)、ボールなどが当てなどは携行する必要はある。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位は青年スポーツ省所属で、チュニジアバレーボール協会に配属され、バレーボール普及強化指導員 (Entraîneur) とする。
2. 技術の範囲、チュニジアのバレーボールの技術水準はアフリカ地域では抜きぬいているとはいえ、世界レベルではまだまだ低い。隊員がナショナル4-4の普及指導員に任せられるか、ローカル4-4の指導員を命ぜられるかは公文履歴書到着後、その内容をバレーボール協会技術普及強化部長 (Directeur Technique) が審査し、かつその時点でチュニジア側のバレーボールにおけるニーズを勘案して決定する。
3. 選任にはすでに5名の隊員が派遣され、うち4名が地元のローカル4-4指導員に当り、1名がナショナル4-4の若年組 (junior) を指導した。地元のローカル4-4の指導の場合、その地に組織されたクラブを指導するかわり、高校(女子を含む)へ出張指導する場合が多い。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 上記の如くすでに5名の隊員が派遣され、現在3名(うち1名は来月帰国)が活躍中である。チュニジア側としては常時3~4名の日本人指導員を要請している。レベルアップには時間がかかるので、息の長い協力が必要とされる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

できれば大卒が望ましいが、むしろ経験が豊か(7年以上、ということは何令
 ○25才以上) であることが絶対条件。クラブ指導の経験を有すること。

最低

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年4月2日

751 バレーボール

調査者氏名 岩波和俊

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ペルー	(現地公用語) Vóleybol	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) バレーボール	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO NACIONAL DE RECREACION, EDUCACION FISICA Y DEPORTES (INRED)

(日本語): 文部省体育庁

2. 隊員勤務先名称: Federación Peruana de Vóleybol 日本語名称 (ペルーバレーボール連盟)

所在地: Estadio Nacional, Pta. 16, 1º Piso, Lima 主要都市からの距離 (km)

3. 事業規模及び内容: 本連盟は1942年5月に設立された由緒ある団体で、傘下に40,000名の選手を抱え、リマだけでも2,000名の有望なプレーヤーを数える。ナショナルチームは過去7回も中南米知北の栄光に輝いており、加藤コーチが率いる女子チームの先般の世界の権威台の活躍は、記憶に新しいところである。

4. 設備概要: 国立競技場内に連盟独自のバレーコートを保有している。

(2) 隊員の業務内容:

本連盟には現在2名の韓国人コーチが勤務しており(米国の資金援助計画の一環として)、1人が女子のナショナルチーム(成人)を他の1人が男子成人ナショナルチームを担当している。(彼等は私契約で連盟に雇われ、月給1500ドルを米国が当国に与えたスポーツ振興資金の中から得ている。)然しながら、本連盟の活動の基盤は極めて広く(現在サッカー、バスケの2大国民的スポーツと並ぶ評価を受けている)例えば同じナショナルチームでも未成年の部の男女各1チームがあり、国際大会にも度々参加しているが、これの専任外国人コーチが居らず、その他代表的チームも良き指導者の欠如に悩んでいる。

1. 韓国人コーチ2名は、契約により本年まで任期が切れる(満算4年の滞留)ので、その場合はその後任として、もし延長される場合でも彼等と同様の連盟技術顧問兼コーチ(体育庁所属)が隊員の身分。

2. 主たる業務内容は、ナショナルチームを初めとする主要チームの指導。ペルー人コーチ対象の再訓練コースの開催。有力な地方団体への巡回出張指導。

3. カウンターパートとしては、体育専攻の3名のペルー人コーチ(もつとナショナルチームの選手で外国での研修経験あり)である。(連盟所属) (正式)

4. 使用言語スペイン語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

サッカー、バスケットに並ぶ、国民スポーツとして定着してきたバレーボールも、愛好者が益々増加し、裾野が広がって、同時に頂点がより高くへとのびてくると、経験ある優秀な指導者の不足が問題となり、この要請を解決すべく今回の隊員派遣要請となった訳である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 代表的チームの指導者としての経験 3年以上
 1. 経験

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 31 日

ザンビア

752 バスケットボール

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Basketball Coach	(男) / 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) バスケットボールコーチ	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 2 月 受入期限 56 年 2 月迄に現地到着のこと

1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Youth and Sports, National Sports Council of Zambia
(日本語): 青年スポーツ省, ザンビア国立スポーツ審議会
- ロ. 隊員勤務先名称: ザンビア鉄道公社, ザンビア銅鉛公社 (日本語名称:)
所在地: Kabue, Kabue (Mufunila) 主要都市からの距離 (144kmより/50キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 国立スポーツ審議会に属し, ザンビア鉄道公社及びザンビア銅鉛公社にあるバスケットボール場のコーチを担当する。ザンビアアマチュアバスケットボール協会のコーチも担当する。

ニ. 設備概要: 一部の設備はあるが近代的なものではない。

- (2) 隊員の業務内容: 国立スポーツ審議会に属し, 銅鉛公社あるいはザンビア鉄道公社, ザンビアアマチュアバスケットボール協会にてバスケットボールのコーチに当る。ホ. バスケットボール協会の訓練計画作成, 地区, 州, 国立レベルでの団体試合に対する運営調整とナショナルチーム及びクラブの強化を図る。

携行機材

- ① バスケットボール
- ② トレーニング靴
- ③ トレーニングシャツ (長・短)
- ④ トレーニングソックス
- ⑤ トラックスーツ等

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: バレーボールコーチの4月派遣の実現に伴い, バスケットの分野でも要請が出たためである。最初の要請であるだけに強い組織力, 協調性, 調整能力, 精神力が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒, 実務経験5年以上, 英語堪能, 地道な活動力にも耐えられ, 謙虚な精神力の持主で, 積極的かつ包容力があること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年8月23日

770 柔 道

調査者氏名 神谷弘司

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) JUDO	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 柔道	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限55年8月迄に現地到着のこと

1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Catholic Youth Organization (CYO)

(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: CYO Recreation Center

日本語名称 (CYO Davao-Japan Center)

所在地: Davao City, Mindanao

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本センターは体育を通じて、青少年の健全育成を計ることを目的であり、学生、一般青少年、少女を対象にバスケットボール、柔道、ボレーボール等、空手が行なわれている。

ニ. 設備概要: 体育館(6,000人収容)、バスケットボールコート一面、ボレーボールコート2面、柔道場(50畳)、ボレーコートがある。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: CYO 柔道指導員

② 技術の範囲: 男子(6才~12才)、女子から初段クラスまで指導できる程度。

4段以上であれば投げの型、固めの型も習得していることであるが、これらの型を細かな動作まで生徒に質問しながらよく習得したか否かは不明である。

③ 業務の形態: 現在隊員はCYO(幼年組健全会)、ミンダナオ大学(UM)の柔道クラブとHoly Cross Davao Collegeの小学、高校、大学生を対象とした体育(柔道)授業を指導する。

④ 対象者及びカテゴリー等: 男子(6才以上)から一般成人まで。参考までに指導対象にはCYOで黒帯(初段)4名、茶帯(1級)1名又、ミンダナオ大学で黒帯(初段)1名、茶帯(1級)1名がいる。カテゴリー2名。1名は大学23才、初段。他の1名は高年32才、1級。

⑤ 現地で利用される機材: 畳50畳(日本製)、柔道着(日本製)30着。

⑥ 母国の人等: 運営者であるカダ人神父のみ。

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 郷原康生隊員(52/前、柔道)の受替要請。

体育を通じて青少年の健全な育成が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 4段以上で(投げの型)、(固めの型)を習得していること。

2. できれば極みの型、護身術も習得しており、整骨の知識がある人。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 1 月 31日

770 柔 道

調査者氏名 柳井 進

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
チュニジア	(現地公用語)	(男) 2人	訓練開始 1980年 4月
	Maitre de Judo	(女) 人	派遣予定 1980年 8月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	柔 道		

1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): 青年スポーツ省

(日本語): Ministère de la Jeunesse et des Sports

ロ. 隊員勤務先名称: Fédération Tunisienne de Judo 日本語名称 (チュニジア柔道連盟)

所在地: 31, Rue Kamal Ataturk, Tunis 主要都市からの距離 (市内 ~~から~~ キロ)

ハ. 事業規模及び内容: チュニジアに本部、それにチュニジア国内に6か所の支部を持ってチュニジア人に対し柔道の普及拡大を計っている。

ニ. 設備概要: タタミ100畳位の練習場がある(チュニジア)がタタミは古く、建物も雨もがする。新しい道場は計画中もあるが完成するか見通しは明らでない。

(2) 隊員の業務内容:

チュニジアの柔道は約10年程前に明大OBの柔道指導者によって開始され、以来、約による指導者から昭和51年3月に協力隊員に引継がれ、榎本隊長、阿部隊長、萩野隊長とすでに三代、4年間にわたって指導が行われてきた。萩野隊長の滞留(55年2月)に当って交代者として追加1名の2名について要請が出されたことである。萩野隊長の交代者は、チュニジア柔道ナショナル4-6の技術指導者としてナショナル4-6選手の育成に当る。追加1名の者はナショナル4-6の支部(恐らくスファックス支部と推定)の専任技術指導者としてその地域の選手の育成に当る。チュニジアのナショナル4-6の選手は学生、軍人、社会人から構成され、年令は17才~25才であり、毎週月水金の夕方から柔道連盟道場において1時間半~2時間半の間、練習が行われる。特定の時期、新年とか夏休期間、には強化合宿を1週間せいし10日間実施することもある。チュニジアでは柔道の人気は高まってきており、小学校低学年から20才以上まで、各種クラブに参加して練習に励んでいる。これの中から優秀な人材を選抜してナショナル4-6の選手とする。1979年9月にエゴスロピアで行われた地中海オリンピック(15か国参加)においてチュニジア4-6は銅メダル3枚を獲得している。練習プログラム、合宿プログラム、海外遠征日程等について協力隊員の意見が尊重され、遠征に参加する。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: チュニジア柔道は当初から日本式(Ecole japonaise)で行われ、10年以上も経過してレベルは上がりつつある。1980年モスクワオリンピックへの参加は状況が流動的であるが、チュニジア政府としては日本人柔道家による継続指導を熱望しており、地方指導者を拡大する意味で今回の2名の要請を行ったことである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 柔道5段(チュニジア)、4段(スファックス)以上の有段者のこと。チュニジア人は体格が優れているので、大きい体格の者が望ましい。フランス語をしっかりと習得すること。アラブの厳しい人間関係に対応して行ける人間的に巾のある人物。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

770 柔 道

記入昭和 55 年 8 月 21 日

調査者氏名 豊島 一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) Judo	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 柔道	(女) 人	派遣予定 56 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Office of the President

(日本語): 大統領府

ロ. 隊員勤務先名称: Kenya Police College

日本語名称 (ケニア警察大学校)

所在地: Kiganjo

主要都市からの距離 (概より) 60 キロ

ハ. 事業規模及び内容:

日本における警察学校、警大を合わせたような警察官の養成・訓練のための学校である。

ニ. 設備概要: スポーツ用施設もかなり整っており、一つの体育館の半分を柔道場として使っている。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 柔道指導官

② 技術の範囲: 柔道及び講道館護身術を指導すること。

③ 業務の形態: 実地指導

④ 対象者: カンパナ等: 警察官が対象でカンパナ的有段者に初段 4 名。

⑤ 使用できる教材: 不足している物はない。

⑥ 対人口及び学習者の配置: なし。

⑦ 使用する言語: 英語

⑧ 交替要請: 昭和 4 年度 1 次隊 松下 享海 氏の交替である。業務の進捗状況について以下の (3) 項参照

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: おおむね現在活動中の松下隊員で 4 代名の隊員であり、ようやく本年 6 月、初段を 4 名のカンパナ・生徒から与えられケニア警察における柔道も軌道に乗った感じがする。警察側としてはケニア各地の首都に練習用の道場建設の計画を具体化しつつあり、より整った協力隊員による柔道の指導を継続してほしいと強く要望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴: 高専以上。取得資格: 柔道 3 段以上: (現地) 講道館護身術と習得して欲しい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 5 月 3 日

770 柔 道

調査者氏名 中野 勝安

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ 共和国	(現地公用語) JUDO INSTRUCTOR	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 柔道	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 2~4 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): GHANA POLICE FORCE

(日本語): ガーナ国家警察

ロ. 隊口勤務先名称: POLICE DEPT.

日本語名称 (オリステポ (訓練所))

所在地: ACCRA

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 国家警察職員は 全国で 17,000 人

警察訓練所 (約 1000 名の職員及び家族が住んでいる) 近くに警察大学及び刑事 (私版) コースもある。

ニ. 設備概要:

柔道場は完備されているが、畳が老朽しており、マットをしいている。

(2) 隊員の業務内容:

- 国家警察訓練所 (オリステポ) において、訓練生に柔道及び逮捕術 (薄身術) を指導する。

- 業務が慣れてくるとして、警察大学生及び、スペシャルコース (私版) にも逮捕術を指導する。

- スポーツ局 ^{にも} 柔道コース (夜) があり、指導の可能性あり。
スポーツ局には、以前日本の専門家 (タテヤマ氏、山本徳明 6 段 ¹⁹⁸⁴ ₁₉₈₅) が柔道指導にきたため、現在継続中である。(柔道場はオリステポを使用、毎週 月・水・金 17:30~19:30)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

- 柔道を通じて、日本従来の礼儀、作法 等、訓練生に指導して欲しいという希望がある。
- 規律を必要とする警官に柔道を導入してみたい意向がある。
- 精神修養の期待。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ○柔道 女段以上 (取得経験の場合 3 段以上)

- どよみかまじき警官出身が好ましい。
- 実力も当然ながら、人格的に立派なものが (酒好きが好ましい)
- 指導経験が豊富でなく、若くてもよい、但し年齢が必須。

* 赴任際 畳 50 畳 及び柔道衣 70 着 (特大 10、大 40、中 40 4・10) を携行機材で必ず、贈送願いたい。なお柔道の本、等

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

770 柔 道

記入昭和 54年 11月 29日

調査者氏名 吉田 隆行

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語) JUDO (日本語) 柔道	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 1980 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

1) 配属先 JUNTA NACIONAL DE BIENESTAR SOCIAL 国家社会福祉委員会

イ. 配属先名称 (現地公用語): CENTRO DE RECREACION "LA ISLA"

(日本語): イスラレクレーションセンター

ロ. 隊員勤務先名称: CENTRO DE RECREACION "LA ISLA"

日本語名称 (イスラレクレーションセンター)

所在地: TENCICTALPA, D.C.

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当イスラでは、現在、サッカー、水泳(水鳥隊員) ヴolleyボール(谷口隊員)、バスケット、バレーボール、柔道等の指導が行われていた。対象者は年齢性別の条件を満たし、これに誰か入るに決まらずに物に恵まれる子供に力を入れている。

ニ. 設備概要: 事務所、サロ(練習室50枚設置) プール、サッカー場、競走用トラック、バレーコート2面、バスケットボール2面。

(2) 隊員の業務内容: イスラ付下青少年指導の一環として7の高校生、大学生、一般青少年指導及び指導者の育成指導が要請内容である。柔道の普及が中米諸国で一番遅れており、ホニョウス国内でも1回大会を7月に各学校柔道指導者協力のもとで開催した。試合内容はもとより、審判規定も、指導者、生徒ともに熟知しておらず、試合前に講習会を開いたが、これだけでは不十分で講習会を開かなくてはならなかった。そして生徒に目的を持たず意味からも、小豆の試合を何回となく、実施すればよいというホニョウス武庫協会と協力し、各学校での指導および優秀選手を1月に集めた練習等の工夫も必要と感じ

- ① 隊員の業務上の地位: イスラ付教員、指導者。
- ② 技術の範囲: 柔道の実技指導
- ③ 業務の形態: 午前10時~12時(主に高校生)午後6時~8時(高校、大学、一般)
- ④ 対象者数: カンポートの技術水準、学歴及び年齢: 高校生、大学生、一般青少年、ラケルホニョウス2校
- ⑤ 現地下利用設備: 体育会専用柔道場、柔道畳50枚、柔道畳約90着
- ⑥ 現地に於ける外国人及び日本専任者の配置状況: あり
- ⑦ 使用する言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の将来を担う青少年及び地域社会住民の健全な育成を目的として、又都市、社会福祉施設が体育教育の普及に力をいれ、はじめて絶対的指導者不足、知識人の不足が政策を進める上で大きな障害になっている。従って隊員への、現地の直接指導もさることながら、3面下指導者講習会、練習会を開催し指導者を育成することに期待

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 3人以上、年齢22才以上、学歴不問、技の形、組の形、護身術を習得していることか望ましい。